

飛翔

No.96 東京陸協会報

2011(平成23)年5月20日発行

発行
(社)東京陸上競技協会
〒160-0021
新宿区歌舞伎町1-28-3
武井ビル4階
電話 03-3203-6123
FAX 03-5292-0196
HP <http://www.toriku.or.jp>

東日本大震災に被災された皆様にお見舞い申し上げます。

平成22年度第2回通常総会開催 ＜平成23年度事業・予算案承認さる＞

平成22年度第2回社団法人東京陸上競技協会通常総会は、平成23年2月12日(土)午後2時より、東京都品川区大崎4-2-16立正大学大崎キャンパス第9B21号教室において開催されました。
会員(登録代表者)数385名中、202名(内、委任92名)の出席をもって総会は成立し、議長団には佐藤三千雄氏(練馬AC)と井上克巳氏(立川市)が選出され、議事は進められました。

＜新規加入団体が承認されました＞

平成22年度加入5団体

- (株)ファミリィネット・ジャパンランニングクラブ(渋谷区) 9名 レモンシス
- テムRC(港区) 11名 津田塾大学アスレティッククラブ(荒川区) 5名 法政
- アスリート倶楽部(町田市) 5名 Team Inspire(八王子市) 8名

平成23年度加入3団体

- アステラスRC(板橋区) 20名 日本大
- 学芸術学部陸上競技部(練馬区) 16名
- JVICT(町田市) 5名

＜23年度事業計画＞

2013年(平成25年)東京国体の成功と男女総合優勝をかけ、本年度も頑張りたい、という気持ちの入った事業計画でした。これに対する主な質問は、国体予選が廃止された理由について、特に山口国体の資格審査では、国体予選が必要になるのでは、との懸念の声が聴かれました。東京陸協主催競技会は下記のとおり(大会名は省略)

4月30日～5月1日(土、日)

第74回東京選手権兼第66回国体予選(国立競技場ほか)

6月4日～5日(土、日)

第7回東京リレーカーニバル(夢の島競技場)



7月3日(日)

第27回小学生陸上東京代表選考会(駒沢競技場)

7月17日(日)

第2回東京ナイター陸上兼第66回国体予選(国立競技場)

9月10日～11日(土、日)

第23回東京ジュニア兼第42回ジュニアオリンピック予選(夢の島競技場)

11月6日(日)
 第51回東京女子陸上(駒沢競技場)
 24年1月1日(日)
 第60回元旦競歩兼第74回東京選手権(神宮外苑)

〈23年度予算案〉

野澤会計理事より、一般会計、特別会計の予算案が別表の通り提案され承認されました。

〈役員改選行わる〉

総会に先立って、任期満了に伴う役員改選(理事選挙)が行われました。当選者は下記の通りで、現専務理事の田中利雄氏が、四期連続トップ当選を果たしました。(敬称略)

田中利雄 小松邦江 貫井勝之 平塚和則 曾根弘道 中村孝生
 中野人志 井口輝男 鈴木茂雄 石上敬久 有澤政雄 馬場 孝
 川島康男 潮田和男 大野 弘

〈役員配置も決まる〉

役員改選直後、互選により専務理事に再選された田中利雄氏は、さる3月25日、平成23・24年度理事連絡会を招集し、東京国体の大会運営、競技運営、選手強化等に強い決意を示した上で、次の執行部体制を発表し、全理事がこれに呼応、全力で取り組むこととなりました。

会長 石原 伸晃
 副会長 鈴木 存・馬場 孝・井口 輝男
 専務理事 田中 利雄
 監事 伊藤 陽三・藤田 幸雄
 相談役 秋山 肇
 会計部 部長 野澤 恒雄
 総務部 部長 有澤 政雄
 広報部 部長 小松 邦江
 競技部 部長 大野 弘
 審判部 部長 曾根 弘道
 部長 中野 人志

日本を背負う、世界を狙う。

日本の陸上界をリードし、世界へ挑戦を続けるトップアスリート集団「ミズノトラッククラブ」。ミズノは、先進テクノロジーを駆使した陸上競技ギアで彼らの活躍をサポートしています。

MIZUNO TRACK CLUB

明日は、きっと、できる。 MIZUNO

www.mizuno.co.jp • 0120-320-799

記録情報部 副部長 潮田 和男
 普及部 部長 川島 康男
 強化部 副部長 貫井 勝之
 (国体強化部) 部長 鈴木 茂雄
 部長 水木 学
 部長 大村 邦英
 副部長 中村 孝生
 部長 平塚 和則
 部長 田中 利雄
 室長代行 大槻 高弘
 委員長 山崎 寿美子
 委員長 三橋 敏武
 委員長 中尾 敬治
 副委員長 大谷 久知
 新設 国体・日本選手権準備室長 鈴木 存
 新設 国体強化部副部長 山口 賢司
 競技部副部長 山下 良成
 審判部副部長 鈴木 一弘
 国体強化部副部長 大谷 久知

平成23年度予算について

1. 予算編成の基本方針と特記事項

- ① 前年度の基本的な考え方を踏襲して予算編成を行いました。
- ② 全ての事業活動について、創意工夫をこらし、従来の慣習にとらわれず収入増と支出減を計る予算としました。
- ③ 各事業の活動については、過去の実績を踏まえ、各科目の収支を検証し予算編成としました。
- ④ 東京国体への強化特別事業(練習会、合宿等)の実施に向けた予算措置を引続き講じました。

2. 一般会計

- ① 収入においては、協会収入の増と競技会を整理したことによる参加料減及び全国小学生大会の横浜への移動等による減を見込み減額し、なお今期は特別会計からの繰入を行わない予算とした。
また、支出については、競技会開催時の諸経費減と会議室の賃貸及びパソコン、プリンターの更新に伴う賃借料増による予算である。
- ② 当期収支差額は、△であるが、前期からの繰越があるので、次年度繰越は15,424,128円を見込む。

一 般 会 計

平成23年4月1日から平成24年3月31日

【収入】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	内 容 等
基本財産運用収入	250,000	328,000	△ 78,000	
(協会収入)	33,568,000	31,393,000	2,175,000	
加入団体会費収入	1,955,000	1,860,000	95,000	加入団体会費(269団体)
団体登録会費収入	20,800,000	18,980,000	1,820,000	正会員登録(8,000名)
個人登録会費収入	8,013,000	7,353,000	660,000	准会員(2,300名)他
加入金収入	800,000	1,000,000	△ 200,000	
賛助会費収入	2,000,000	2,200,000	△ 200,000	400口を見込む
(事業収入)	36,470,000	40,051,000	△ 3,581,000	
競技会運営収入	17,000,000	19,000,000	△ 2,000,000	各競技会参加料、広告料他
競技会運営補助収入	4,198,000	4,180,000	18,000	都体協他
共催競技会選手派遣収入	80,000	80,000	0	東日本女子駅伝
共催競技会選手派遣補助収入	816,000	800,000	16,000	東日本女子駅伝(福島TV)
競技会選手派遣収入	465,000	420,000	45,000	国体他
競技会選手派遣補助収入	4,600,000	5,100,000	△ 500,000	都体協他
選手育成収入	1,000	1,000	0	
選手育成補助収入	5,200,000	5,000,000	200,000	都体協他
審判育成収入	3,900,000	4,950,000	△ 1,050,000	講習会、研修会
指導者育成収入	200,000	500,000	△ 300,000	指導者養成講習会他
広報情報事業収入	10,000	20,000	△ 10,000	
(受託収入)	21,950,000	21,950,000		
受託収入	21,950,000	21,950,000	0	東京マラソン、板橋Ctiyマラソン
(補助金等収入)	10,580,000	12,580,000	△ 2,000,000	
補助金等収入	10,580,000	12,580,000	△ 2,000,000	陸連他
(寄付金収入)	10,000	10,000	0	
寄付金収入	10,000	10,000	0	
(雑収入)	508,000	445,000	63,000	
受取利息収入	8,000	15,000	△ 7,000	
雑収入	500,000	430,000	70,000	物品売上他
(繰入金収入)	2,000	1,001,000	△ 999,000	
事業積立金特別会計繰入金収入	1,000	1,000,000	△ 999,000	
財政調整積立金特別会計繰入金収入	1,000	1,000	0	
収入合計	103,338,000	107,758,000	△ 4,420,000	

【支出】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	
(事業費支出計)	70,561,000	73,257,000	△ 2,696,000	
競技会運営事業支出	22,710,000	25,546,000	△ 2,836,000	競技会諸経費
共催競技会選手派遣事業支出	1,051,000	1,068,000	△ 17,000	東日本女子駅伝
競技会選手派遣事業支出	9,304,000	8,623,000	681,000	国体、男女駅伝他
受託事業支出	17,405,000	17,750,000	△ 345,000	東京マラソン、板橋Cityマラソン
競技力向上事業支出	13,442,000	13,038,000	404,000	駅伝プロジェクト、国体等合宿他
普及指導事業支出	1,094,000	1,717,000	△ 623,000	小学生陸上教室他
審判育成事業支出	2,645,000	2,592,000	53,000	講習会他
出版事業支出	454,000	504,000	△ 50,000	記録集他
栄章事業支出	109,000	207,000	△ 98,000	栄章
広報情報サービス事業支出	2,062,000	2,100,000	△ 38,000	会報他
女子委員会事業支出	285,000	112,000	173,000	
(管理費支出計)	35,058,000	33,028,400	2,029,600	
人件費支出	12,505,000	11,866,000	639,000	職員給与、手当
賃金支出	1,500,000	1,000,000	500,000	
会議費支出	951,000	1,015,000	△ 64,000	
旅費交通費支出	2,860,000	3,130,000	△ 270,000	理事会、専門部、総会ほか
通信運搬費支出	1,000,000	1,300,000	△ 300,000	
什器備品費支出	50,000	50,000	0	
消耗品費支出	800,000	1,200,000	△ 400,000	
印刷製本費支出	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
光熱水費支出	780,000	540,000	240,000	電気、ガス、水道
渉外費支出	300,000	500,000	△ 200,000	
賃借料支出	10,532,000	8,135,000	2,397,000	事務所、会議室他
諸謝金支出	200,000	300,000	△ 100,000	会計士他
分担金支出	870,000	870,000	0	
登録料支出	1,400,000	1,300,000	100,000	陸連
手数料支出	75,000	70,000	5,000	各種振込手数料他
雑支出	100,000	70,000	30,000	
租税公課支出	70,000	70,000	0	地方税
保険料支出	15,000	12,400	2,600	火災保険他
修繕費支出	50,000	100,000	△ 50,000	
(繰入金支出)	2,000	2,000	0	
事業積立金特別会計繰入金支出	1,000	1,000	0	
財政調整積立金特別会計繰入金支出	1,000	1,000	0	
(投資活動支出)	46,501	115,276	△ 68,775	
減価償却引当預金積立支出	45,501	114,276	△ 68,775	減価償却費
什器備品購入支出	1,000	1,000	0	
支出計	105,667,501	106,402,676	△ 735,175	
予備費	2,000,000	4,187,789	△ 2,187,789	
支出総合計	107,667,501	110,590,465	△ 2,922,964	
収支差額	△ 4,329,501	△ 2,832,465	△ 1,497,036	当期収支
前期繰越額	19,753,629	22,586,094	△ 2,832,465	
次期繰越額	15,424,128	19,753,629	△ 4,329,501	

事業積立金特別会計

平成23年4月1日から平成24年3月31日

【収入】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	内 容 等
受取利息収入	13,000	13,000	0	
一般会計より繰入金収入	1,000	1,000	0	
収入合計	14,000	14,000	0	

【支出】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	
一般会計へ繰入金支出	1,000	1,000,000	△ 999,000	
支出合計	1,000	1,000,000	△ 999,000	
収 支 差 額	13,000	△ 986,000	999,000	当期収支
前期繰越額	19,085,200	20,071,200	△986,000	
次期繰越額	19,098,200	19,085,200	13,000	

財政調整積立金特別会計

平成23年4月1日から平成24年3月31日

【収入】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	内 容 等
受取利息収入	13,000	13,000	0	
一般会計より繰入金収入	1,000	1,000	0	
収入合計	14,000	14,000	0	

【支出】

(単位:円)

科 目	平成23年度	平成22年度	対前年度増減	
一般会計へ繰入金支出	1,000	1,000	0	
支出合計	1,000	1,000	0	
収 支 差 額	13,000	13,000	0	当期収支
前期繰越額	29,243,866	29,230,866	13,000	
次期繰越額	29,256,866	29,243,866	13,000	

飛翔「会長挨拶」**会長 石原 伸晃**

3月11日の東日本大震災で亡くなられた多くの皆様により哀悼の意を表すと同時に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。東京陸協と致しましては、大きな被害を受けた県陸協にお見舞い状をお送りすると同時に募金活動を行い、一日も早い復興をお祈りしております。

いまだに余震が続き更には原発事故による不安な状況にある中、新年度がスタートいたしました。日本の政治・経済の根幹を揺るがす大災害を受け、われわれ日本人ひとりひとりがこれを機会に生活スタイルを見直すチャンスともなりました。東京陸協は今後も被災地への息の長い支援を続けると同時に、陸協としての使命をしっかりと果たす責任があります。

本年度は役員が改選され、私も皆様のご推薦により2期目の会長を引き受けさせていただきました。今東京陸協には、公益法人化、安定した財政確保、2年後となった国体に向けての選手強化・的確な競技運営等大きな課題があります。まさに東京陸協の力が試される年です。

また、東京マラソンに象徴されるように、多くの国民は自らの体を動かし、仲間と共に楽しみたいと思っています。記録・勝負を追求する競技者と合わせて生活を楽しもうとするランナーに目を向けた東京陸協でありたいと考えています。

年度の初めにあたり、皆様の更なる活躍を期待しております。

東京国体へのスタート**副会長 鈴木 存**

想像を絶する大惨事！何が起こるかかわからない。東日本大震災に振り回された年度末。いつの間にか新年度を迎えた感じ。でもここで気

持ちを切り替えなくてはいけない。五十四年振り三回目となる東京国体が二年先にはやってくるのです。「東京は競技会の開催はなれているから大丈夫」「いつものようにやればなんとかなるよ」こんな声を聞いたたびに一層の不安に襲われる。「やればいいんだ」こんな気持ちは捨てなければいけない。県を挙げて、県民が一つになつて国体を盛り上げてきた多くの開催県の努力を忘れてはいけない。東京陸協の総力を挙げて成功させなければなりません。

東京らしい大会をやってみようではありませんか。コンパクトでスマートな国体を。きっと他県はそれを期待しているでしょう。国体開催についてはいろいろと議論されてきていますが、なかなか変わらないのが実情です。東京陸協が国体の陸上競技会で新しいスタイルを全国に発信しようではありませんか。といつてもあと二年です。今年度の東京選手権がまずスタート。今後開催される多くの競技会では小さなことでもよい、各人がそれぞれ課題を持つて臨んでみようではありませんか。来年度からはいよいよ国体会場の「味の素スタジアム」がオープンします。その一年前にしっかりと充電しておきたいものです。皆さんと一緒に、ひとつになつて。

副会長 馬場 孝

このたび東京陸協副会長の拝命を受け、心引締まる思いであります。また、選手育成強化に関わる事業に対し、多大なるご支援をいただき感謝を申し上げます。これからも今までの経験を生かし、東京チームが勝つように育成・強化を進めたいと考えています。

東京国体が2年後、2013年(平成25年)に新装になった味の素スタジアムで開催されますが、目標としている男女総合優勝を是非成し

遂げていきたいと思っています。過去国体においては0.5点差で順位が変わることもしばしばありました。「国体は点数勝負」です。1つでも順位を上げると強い気持ちを持ち、接戦での勝負強さを発揮し、全員が表彰台に立てるよう頑張つてまいります。また、昨今ジュニア長距離選手の記録向上が著しく、2年後の全国男女駅伝での優勝を目指し努力いたします。

副会長に就任して**副会長 井口 輝男**

このたび、図らずも副会長の大役を仰せつかり、3人の末席に座らせて頂きました。

社団法人東京陸上競技協会の定款第14条に(副会長は、会長を補佐し会長に事故があるとき、又は欠けたときは会長があらかじめ指名した順序によりその職務を代理し、又はその職務を行う)とあります。

会長は、私に、10月に予定されていたゴールドマスターズ陸上を担当せよ、と言われましたが、東日本大震災で中止となりました。

具体的な仕事は無くなりましたが、会長を補佐する立場を忘れず、常に協会の動きに目を配りながら、会長、即ち専務の仕事に協力して参る所存であります。

専務理事 田中 利雄

「意識改革」から「実行」へ。3月11日に発生した未曾有の大震災、相変わらず続く底の見えない不況、日本国内では様々な懸案が解決されないまま現在に至っています。今こそ日本人としての本当の力が試されている時であると痛感

しています。東京陸協では専務理事就任後、事あるごとに「意識改革」を唱え、将来を見据えた体制作りの構築を訴えてまいりました。今年度からは、「実行」を合言葉に様々な改革を実現させていくよう努力してまいります。基本的な活動方針としては、

- 一 目的・目標を明確にし、効果効率のある事業展開
- 二 東京国体・日本選手権に向けた諸準備
- 三 24年度移行を目標に新法人化に向けての準備
- 四 国体・全国都道府県男女駅伝等全国大会で勝つ強化推進

五 安定した財政確保の構築

を掲げました。具体的には新体制のもと、9つの専門部会と今年度から新設する「東京国体・97回日本選手権準備室」「マーケティング戦略室」の2つの特別室及び7つの特別委員会を組織いたしました。特に、25年度に開催される「東京国体」は東京陸協の存在意義を認識するための絶好のチャンスであると考えます。勝つことはもちろん、「さすが東京陸協」とだれもが称賛、納得する競技運営を遂行しなければなりません。そのために東京国体・97回日本選手権準備室では、準備室長である鈴木存副会長を中心に大会運営・競技運営・選手強化の3委員会を設け、連携をとりながら取り組んでまいります。

また、マーケティング戦略室では、安定した財政確保のために新規事業開発、企画立案はもとより、現行事業全般に参画し、費用対効果を明確にした大会運営を目指し、スポンサーの新規開拓を進めてまいります。

東京陸協は言うまでもなく、会員の皆様をはじめとする様々な方のご支援ご尽力によって成り立っている団体です。「だから愛される東

京陸協」であり続けるために尚一層のご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

財務会計部

部長 野澤 政雄

平成二十三年度財務会計部方針

- 一 必要な財源の確保と経費の節約
- 二 企業からの協賛金の確保及び賛助会員の増加
- 三 予算の適正な支出と正確な事務処理
- 四 競技会における収支状況の検証
- 五 新公益法人会計基準による経理処理

総務部

部長 有澤 政雄

総務部・23年度・24年度 活動指針

東京陸協会員の皆様、前期は大変お世話になりました。まずは御礼申し上げます。さて、ご存知の様に、2013年の東京国体、日本陸上競技選手権大会を控え、東京陸協としては今期、非常に重要な事業展開が求められます。特に各専門部の事務分掌第16条を再確認し現状に適した職務を総務部が中心になって遂行、各部との連携を密にし、円滑な業務展開を支えてまいります。

その為、総務部としては、部内を企画係と業務係の2本立てにし、それぞれ、適材適所の配置をし、それぞれに責任ある仕事を分担して行く。特に、今期より全国に先駆け個人登録、団体登録とも電子化され業務の電子化が急速に進められております。より簡潔な諸事務手続きを企画係が中心になり遂行して参ります。

又、業務係は従来各部がそれぞれ行なっていた、発送業務等の庶務的作業を一括して請負、迅速な処理を行ないます。総務部が請け負うこ

とで各部にはその分、専門的な高度の業務が進めていけるようになればと思っております。

競技部

部長 大野 弘

会員各位には東京陸上競技協会の大会において日頃から大変お世話になっております。

さて、皆様方もご承知の通り東日本大震災があり、大変な日々が続いております。未曾有の被害が発生しており心からお見舞いを申し上げます。

東京陸協の競技部においても計画停電で交通機関や各競技場に於いても少なからず影響が出ております。特に東京ナイター等競技場より節電の依頼があります、本年計画をいたしました各競技会のIT化を進めて予算の見直し、競技会の実施の有無を検討してゆきたい。計画通り競技会を行うことが出来るか判りませんが、少しでも早く判断をし、決定をしてゆきたいと思っております。どうぞ関係者の皆様方にはご迷惑をお掛けいたすことと思いますが、ご協力のほどお願い致します。

審判部

部長 中野 人志

平成23・24年度における審判部長を命じられました中野人志です。よろしく申し上げます。

審判部員・審判部副部長の経験を生かして、部員と一緒に取組むとともに他の専門部と協調をはかりながら、東京陸協の発展のために一生懸命頑張りたいと思っております。審判部では、

- ① 「スポーツ祭東京2013（東京国体）」や日本選手権などにおいて競技者や観衆の人たちに感動を与えることができる競技大会を目指した審判編成や審判技術の向上
- ② 東京陸協が主催・主管する競技大会をは

はじめとする各種大会への、東京陸協審判員の公平な編成

③ 「さすが東京陸協」と言われる審判技術の向上を目指した審判員の育成

の3項目を重要課題として取り組む所存であります。

記録情報部

部長 川島 康男

記録情報部という名称は最近のことであって、4年くらい前までは記録部でした。競技の結果を紙ベースで手書きで番号や選手名や記録などを書いて、記録処理をしていた時代が長く続いておりました。近年になって社会情勢の中でIT化が進むにつれて陸上界にも序々にコンピューターが入り込み、今では記録情報部が主軸で競技運営を進めて行く方向で進んでおります。しかしながら競技運営全体をとらえること、記録情報部独自で競技会は出来ません。審判の各部署では、任された任務を遂行しており、そのことよって競技会が成り立っております。最近ではその部署にもコンピューターが入って来ております。今後、競技会が本当のIT化を目指すことを強く考えております。これは、記録情報部が各部と連携を組み一体化させることだと思えます。是非ご協力の程、お願い申し上げます。

普及部

部長 貫井 勝之

普及部として今年度取り組まなければならぬことは、大きく分けて二つあります。一つは体験教室の充実、もう一つは「指導員の養成」です。

「体験教室」では、未来の東京・日本を担う小学生を対象として、一流選手の動きを実際に自分の目でみることに「多項目」に挑戦すること

をやつてもらいます。多くの種目をやることにより小学生の時期に必要な「神経系」を刺激させること、そして「興味」を持たせることがねらいです。

「指導員の養成」はまだまだ不足している指導員の増員を図ることと、正しい理論と技術、指導方法を取得してもらうことがねらいです。

強化部

部長 水木 学

この度、先代の馬場強化部長を引き継ぐことになりました水木です。偉大な強化部長の後任という事もあり、肩にのしかかる重責をどのようにに全うしたら良いのか暗中模索といったところ故、諸先輩の皆様方にはご指導を賜りたい所存です。

体育教師を続ける傍ら、主に中学生の陸上競技の強化と発展を目指して、及ばずながら中体連では三十余年活動して参りました。また、東京陸協では昨年まで強化部に6期、その前は普及部で活動させて頂きました。私の理念は、日本の陸上競技を発展させ世界に通じる強い選手を育てる事です。東京にはダイヤモンドの原石に匹敵するタレントが沢山います。東陸の力を結集し何とか実現を図りたいものです。宜しく願います。

競技場管理部

部長 平塚 和則

この度東京陸協理事に就任し、競技場管理部長を拝命しました。私以下十三名で平成23・24年度の当部の活動をスタートすることとなりました。

現在東京には二十七の陸上競技場、二十三の競走(歩)路があり、併せると全国一の規模を誇つ

ております。また大会開催数も他県を圧倒しており、競技会で使用する器具に対する整備への指導等、当部が与えられた仕事は山積みみされております。二年後の国体に向けた準備と併せて、東京陸協管轄内の公認陸上競技場、公認長距離競走路への指導、各種大会での持込み器具検査の統一化等、具体的な施策を実施して、他府県陸協の模範となるような活動を実施していきたいと思っております。

広報部

部長 小松 邦江

広報部長の任務をスタートするに当たり、東京陸協会報の歴史をたどってみたいと思いたしました。東京オリンピックの2年後、オリンピックを成功させた自信と活気がみなぎっていた昭和41(1966)年7月5日に「創刊号」が発刊されました。今はセピア色になったB5版横書き11ページのはじめに、当時の東陸会長・村木武夫氏と日本陸連会長・河野謙三氏が期待をこめて挨拶を記しています。「上下縦横の連絡、同好各位の互助提携の一助とし：」「陸上競技の向上発展のための建設的意見開陳の場として：」「日本陸連・東京陸協・各クラブとが固く結びつく絆として：」と。月1回の発行でした。

以来45年。広報誌に寄せられる期待は変わりますが、ホームページ等電子機器が普及している今、広報の仕組みを改めて考える必要があります。皆様のご意見をお聞かせください。



クラブ紹介

樂走組(らくそうぐみ)

樂走組は、SNSの二つであるM-Xのコミュニティ『東京マラン』を楽しもう』(正式名は『東京マラン』2012を楽しもう)の練習会に参加している市民ランナーを中心に結成された『樂走組』を母体にしたクラブです。

陸連登録者は27名(男性20名、女性7名)ですが、合計100人以上が参加しています。当クラブは、能力や年齢、性別も関係なく、皆が助け合いながら『楽しく速く走る』こと、健康や安全に留意することを最大の目的に活動しています。

コミュニティ発足当初は陸上経験者がほとんどいないなかで、練習会やレース、懇親会



等を通じて、個々のメンバーが試行錯誤を繰り返しながら、地道にレベルアップを目指してきました。その結果、国際大会に出場するランナーも輩出するようになり、までになりました。その一方で、『東京マラン』で、まだフルマラソンを走ったことのない人を完走させることを目的に

した『初フル塾』を運営、2011年は全員完走を果たしています。東京マランで育ったランナーが新たにランナーを育てる『恩返し』もしています。今後も市民ランナーの裾野を広げるべく、多様な活動を繰り広げたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

清新JAC

清新JACは、1999年に江戸川区清新町の近所づきあいからスタートしたクラブです。走るのが好きな父母と子供がみんな一緒に走り始めたのがきっかけでした。みんな走り始めて11年目の昨年、東京陸協にクラブ登録をさせていただきました。

スタートの頃とはクラブの形態は大きく様変わりしましたが、保護者の方々が子供達と一緒に走ることは今でも変わらずに続いています。それが楽しくて清新JACに所属してくださいという親子も少なくありません。

現在は中学生37人、小学生30人と保護者で中長距離主体の練習をホームグラウンド江戸川区陸上競技場で行っています。そしてその練習の成果は、全国小学生クロスカント



リーリレー研修大会出場8回、全中・JO出場者延べ40名、全中・JO優勝及び入賞者延べ10名、また都道府県対抗男女駅伝、東日本女子駅伝の代表選手も28人を数えます。さらに今年の箱根駅伝にもOB3人が出場し、子供達の夢を大きく広げてくれました。

クラブの活動は練習だけではなく、クリスマス会、卒業を祝う会の他、一昨年は部員達が料理を作り保護者は食べて貰うだけの自炊合宿なども行いました。これからも一人でも多くの子供達が、中学高校で陸上を選択してくれるように、面白く楽しみながら力がつく活動を保護者の方々と一緒に作り上げていきたいと考えています。

大会記録報告

天皇杯第16回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

1月23日(日)冬の安芸路、広島市中区の平和記念公園で、天皇杯第16回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会が、午後0時30分、曇り空の下、湯崎英彦広島県知事の号砲でスタートした。郷土東京のユニホームを着て、中学、高校、一般の7人でたすきをつなぐ48キロ、首位がめまぐるしく変わるレース展開。東京代表も今年こそはと、力が入る声援に押し走った。東京は18位タイム2時間21分33秒。



7区	6区	5区	4区	3区	2区	1区
13 km	3 km	8.5 km	5 km	8.5 km	3 km	7 km
清水 大輔	宇野 幹也	見廣 雄一	塩田 英輔	新田良太郎	青山 拓朗	打越 雄充
37分59秒	09分04秒	25分20秒	15分00秒	24分23秒	08分57秒	20分50秒

(記事・写真 森中カツミ)

皇后杯第29回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

大会当日は早朝からの降雪により気温4度と厳しい条件の下で開催された。

午後0時30分山田啓二京都府知事のピストルの合図により47チームが一斉にスタートし、国立京都国際会館前を折返しとする42・195kmのコースで行われた。

東京チームは8位入賞を目標に川越学監督の熱い想いを各選手に伝えスタートした。

1区村岡温子(資生堂)は26位で2区の藤本知佐(第一生命)に継ぎ23位と上向き、3区の中学生区間の関根花観(金井中)にタスキを渡した。

彼女が驚異的な走りで追い上げ、走り終えてみると区間1位の成績で総合10位へ押し上げた。

4区茂木美優(順天高)は18位であったが、5区中道早紀(資生堂)が頑張りの走りを見せ区間7位と好走し全体で13位に浮上。

6区大槻みちる(拓大一高)は13位を維持、7区麻生美瑛(順天高)よく頑張ったが17位に。

8区有蘭早優(宝仙学園中)の中学生区間も17位で最終9区アンカー加納由理(セカンドウインドAC)に引継がれた。

結果総合成績は13位で昨年の18位から躍進し、目標の8位入賞まであと一歩と迫り、いよいよ来年の第30回大会が楽しみになってきた。

総合13位 2時間21分53秒

9区	8区	7区	6区	5区	4区	3区	2区	1区
10 km	3 km	4 km	4 km	4 km	4 km	3 km	4 km	6 km
			0875 km	1075 km				
加納 由理	有蘭 早優	麻生 美瑛	大槻みちる	中道 早紀	茂木 美優	関根 花観	藤本 知佐	村岡 温子
33分29秒	10分56秒	13分58秒	13分24秒	13分41秒	13分53秒	9分21秒	13分02秒	20分09秒



平成23年1月16日(日)京都市西京極陸上競技場

(記事・写真 高祖勝市)

平成22年度 栄章受賞者

1、功績章（5名）

村田 延雄（警視庁クラブ）

五味 恵（有楽陸友会）

小松 邦江（東京茗友クラブ）

貫井 勝之（板橋区陸協）

大野 弘（日野市陸協）

2、精績章（5名）

金子善四郎（友楽陸友会）

大内 邦彦（大田区陸協）

山廻邊 昭（練馬区陸協）

大久保まさ（杉並アスレチッククラブ）

篠原 庸雄（練馬アスレチッククラブ）

東日本大震災義援金について

3月11日の東日本大震災により多くの方々が被災いたしました。数日後、これら被災された方々に対して少しでも手をさしのべることができないかという声が女子部員、審判部員の中からあがりました。そこで検討した結果、審判講習会の際に義援金を集めようということになり、3月19日の武蔵野、3月21日の青梅、3月27日の府中における審判講習会において募金活動を行いました。多くの方々が無言に賛同していただき、その結果67,540円の義援金が集まりました。この義援金は理事会で検討され、東京新聞を通して被災地に送られました。

その後義援金について加入団体でも動きがあり、独自で義援金を送った陸協もあり、また競技会を開催したときに参加者に呼びかけて募金を行い、多額の義援金を送ったクラブもありました。

未だに避難所生活を余儀なくされている方々もいらっしゃいますが、1日でも早く被災地が復興することを願っています。多くの皆様のご協力に感謝いたします。

理事 貫井勝之

史上初 野外審判講習会

震災のため今年の審判講習会はかなり影響を受けました。3月12日の板橋は電車が十分に動かなくて例年の70%位の人数でした。21日の青梅も計画停電のため電車の本数が減ったことと雨天のためかなり少ない人数でした。27日の府中は計画停電が心配されましたが、それもなくて例年通りの人数でした。府中では新規取得希望者対象を初めて実施し、30名の参加がありました。19日の武蔵野は体育館が震災による被害で使えなくなり、前日までには部屋の中での入替制を考えましたが、結局競技場のスタンドで実施しました。約340名の参加があり、風もなくポカポカ陽気の下で盛況のうちに史上初の野外審判講習会は終了しました。

審判部長 貫井勝之



平成23年度賛助会員一覧

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|---------------------|---------------|----------------|--------------------|--------------------|------------------|---------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|------------------|----------------|--------------|---------------|---------------|----------------------|----------------|----------------|---------------|---------------------|--------------------|------------------|-------------------|---------------|-----------------|---------------|----------------|-------------------|----------------|----------------|---------------|----------------|-------------------|-----------------|----------------------|---------------|----------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|
| 花田 澄明 (練馬区陸協) | 細田 三章 (小金井市陸協) | 佐藤 敦夫 (練馬アスレチッククラブ) | 井上 茂雄 (東京消防庁) | 鈴木 義典 (荒川区陸協) | 高嶋 義典 (陸上競技多摩川クラブ) | 酒井 義典 (陸上競技多摩川クラブ) | 小黒 弘典 (墨田区陸協) | 安黒 弘典 (港区陸協) | 染谷 忠実 (江戸川区陸協) | 篠原 忠実 (小平市陸協) | 塚谷 辰光 (調布市陸協) | 堀越 好夫 (明大紫交会) | 井川 輝郎 (農大常磐松クラブ) | 吉川 節郎 (日本航空RC) | 東京消防庁 | 石塚 弘功 (東京消防庁) | 横山 弘功 (江東区陸協) | 鈴木 喜久男 (練馬アスレチッククラブ) | 市村 良一 (江戸川区陸協) | 江村 春雄 (大田区陸協) | 宮澤 実 (東京陸協) | 長谷部 幸 (練馬アスレチッククラブ) | 長田 幸 (練馬アスレチッククラブ) | 中島 勝 (J R 東日本東京) | 柳沢 忠俊 (J R 東日本東京) | 佐藤 光男 (三鷹市陸協) | 石澤 良男 (東京茗友クラブ) | 前田 芳男 (杉並AC) | 窪田 哲朗 (千代田区陸協) | 瀬倉 政美 (J R 東日本東京) | 岡本 信夫 (大田区陸協) | 市川 力雄 (武蔵野市陸協) | 浅見 邦一 (昭島市陸協) | 石郷 昭一 (東京陸協) | 井上 有美 (セントポールクラブ) | 伊藤 陽三 (明大紫交会) | 鈴木 武雄 (八王子アスレチッククラブ) | 船越 延雄 (調布市陸協) | 藤田 延雄 (警視庁クラブ) | 黒田 延雄 (三鷹市陸協) | 坂上 延雄 (武蔵村山市陸協) | 荒川 延雄 (有楽陸友) | 塩倉 延雄 (小平市陸協) |
| 加藤 健二 (日野市陸協) | 伊藤 訓生 (調布市陸協) | 樋口 三郎 (西東京市陸協) | 樋口 幸好 (豊島区陸協) | 深井 幸進 (東村山市陸協) | 星野 善志 (江戸川区陸協) | 山崎 善高 (東京A.C.) | 吉本 延男 (千代田陸上クラブ) | 荒木 代子 (三鷹市陸協) | 瀬谷 光二 (南蛮連合ランニングクラブ) | 千葉 久美子 (塩垣久美) | 塩垣 久美 (長島) | 根岸 恒美 (折野) | 渡辺 恒美 (折野) | 折野 栄子 (折野) | 水久保 文子 (水久保) | 五味 保一 (有楽陸友会) | 桑原 則夫 (葛飾区陸協) | 大嶽 幸行 (江戸川区陸協) | 鈴木 幸子 (新宿区陸協) | 松本 榮子 (江戸川区陸協) | 渡辺 時子 (葛飾区陸協) | 瀬戸 正雄 (東学大ARC) | 加藤 章 (東学大ARC) | 澤田 五男 (農林走友会) | 青地 清助 (江東区陸協) | 小野 正博 (渋谷区陸協) | 小野 博夫 (千代田区陸協) | 鈴木 博夫 (練馬区陸協) | 井筒 千秋 (千代田区陸協) | 井上 伸一 (江戸川区陸協) | 渡辺 道子 (千代田区陸協) | 貫井 勝一 (板橋区陸協) | 貫井 勝一 (板橋区陸協) | 豊泉 和男 (西東京市陸協) | 保谷 忠信 (M・アカデミー) | 野崎 忠信 (M・アカデミー) | 三橋 敏武 (文京区陸協) | 猪瀬 尚志 (北区陸協) | 櫻井 尚志 (板橋区陸協) | 山崎 尚志 (板橋区陸協) | 猪井 尚志 (板橋区陸協) | 山崎 尚志 (板橋区陸協) | 松井 尚志 (板橋区陸協) |

訃報

関東学生陸上競技連盟
相談役 釜本 文男儀
が2月11日 (金) に
ご逝去されました。
謹んでおくやみ申し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|----------------|---------------|---------------|
| 野村 武弘 (武蔵村山市陸協) | 堀口 利夫 (北区陸協) | 皆越 安之 (新宿区陸協) | 中村 直司 (新宿区陸協) | 石川 喜一 (西東京市陸協) | 若林 秀雄 (豊島区陸協) | 滑川 年雄 (豊島区陸協) | 北島 正市 (国立市陸協) | 小竹 孝行 (府中市陸協) | 齋藤 孝行 (品川区陸協) | 藤田 幸雄 (法友陸上クラブ) | 大野 利雄 (府中市陸協) | 柏木 健治 (府中市陸協) | 田嶋 博隆 (杉並AC) | A.C.K.I.T.A. | 栗山 勝男 (江東区陸協) | 堀江 静男 (世田谷区陸協) | 勝 愛子 (日野市陸協) | 伊藤 昭夫 (日野市陸協) | 富田 雄耕 (日野市陸協) | 平沼 晃城 (日野市陸協) | 田所 秀雄 (日野市陸協) | 高木 富子 (杉並AC) | 椎津 民雄 (杉並AC) | 尾崎 宏二 (八王子市陸協) | 今治 英而 (新宿区陸協) | 島村 雅之 (新宿区陸協) |
|-----------------|--------------|---------------|---------------|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|----------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|----------------|---------------|---------------|
- (平成23年4月28日現在)

編集後記

東陸第8期広報部による最後の会報第6号(飛翔No.96)が出来上がりました。去る2月の役員改選で、東陸第9期(平成23、24年度)役員が発足しました。本号では、その内容と平成23年度事業計画並びに予算を中心に編集しました。

本年4月から、広報部長が井口輝男から、小松邦江にバトンタッチされました。新しい部員に支えられながら、良い広報活動をして下さること、大いに期待されます。どうかよろしくお願い致します。

平成23年5月

広報部長 井口 輝男
編集班長 大内 邦彦
編集員 久保岡佳正
森中カツミ
高祖 勝市

おめでとう 東京高校! インターハイ男子総合優勝!

11頁に掲載



平成23年度前期を振り返って

専務理事 田中 利雄

記録的な猛暑の夏もそろそろ終わり、秋の競技会シーズンに向けた準備が着々と進められています。東京陸協が入賞を目指す国体（10月7日～11日 山口）・男女の都道府県駅伝に向けた選手強化も暑い夏の日差しの中で強化部を中心に取り組み、選手は一段とたくましくなりました。

ところで、専務理事2期目がスタートして7ヶ月が過ぎました。1期目は東京陸協役員の意識改革を掲げ、東京陸協のあるべき姿・進むべき道を理解していただく努力をいたしました。機会あるごとに私の考えを述べ、公式の会議の後も場を変えて大いに議論いたしました。

そして、いよいよ実行に移す2期目です。各部・委員会等の会議、各種競技会にはできるだけ出席して状況の把握に努めています。本年度前期は委員全員が前向きな姿勢で各担当の任務に積極的に取り組み、後期に続く活動をしています。

今東京陸協に課せられている様々な課題は、今後の東京陸協の命運を左右するほどの重要なものばかりです。職責の重さを認識し、前向きに取り組んでまいります。

平成23年度 第1回通常総会

東京都内の陸上競技愛好者とクラブ・団体を募り、陸上競技への理解と発展に希望をもって1935年（昭和10年）4月30日に発足した「東京陸上競技協会」も今年で76年の活動を行ってきました。今年度も東京陸協の方向性を司る「平成23年度第1回通常総会」が6月25日立正大学（品川区）で開催されました。出席者数と表決書提出者数を確認のうえ、5項目の審議事項の報告と承認が行われました。審議事項は次のとおりです。

- ①新規加入団体（14団体）の承認
- ②事業報告
- ③会計報告
- ④補正予算の承認
- ⑤運営規程の一部改訂

今年度、東京陸協は中体連10,593名、高体連7,660名、地域陸協・職域クラブ・同好者クラブ・個



人登録など一般登録者10,816名（平成23年8月）の規模を誇り、年々組織拡大の路を歩んでいます。大規模マラソンを含む競技会の充実、アスリートの指導・育成など課題は多く、東京陸協会員が一丸となって、東京における陸上競技の発展に努力していかなくてはなりません。

平成23年度前期を終わって

1 専門部

(社団法人東京陸上競技協会運営規程に基づく順とする)

財務会計部

6月の総会でご審議いただきましたとおり、平成22年度は赤字決算となりました。ここ数年競技会が増え続けたことも原因のひとつと考え、23年度は大幅な見直しをしています。国体を控えて強化予算を増加することもあり、東京マラソンによる登録者の増加、中体連・高体連の東京陸協登録などによる収入増を適正配分して健全化を図っているところです。



部長 野澤 恒雄
 部員 染谷 実 佐藤三千雄 市村 眞
 樋口 幸好 福島 雄吉 松村 隆

総務部

東京選手権における栄章授与式・日本陸連S級公認審判員昇格者伝達式、第1回通常総会は事前準備・当日作業を行いました。総会は東京陸協の運営に対して貴重な意見をいただく場ですが、本年も正会員約400名に対し当日出席者（表決書提出者を除く）は過半数を超えませんでした。新法人になることを機会に多くの正会員が出席し活発な意見交換できることを期待します。



今期から東京陸協内の業務の効率化を計るべく総務部内に業務グループを発足させ、書類発送・整理・チェックなどを行っています。

また、医事委員会と連携して審判員を対象に救急救命講習会を開催しています。多くの方の受講をお願いします。

部長 有澤 政雄
 部員 石上 敬久 矢作 和昭 武村 亨
 高橋 徳明 高地 貞雄 齋藤 文子
 藤野 孝一 田島佐代子 大久保まさ
 若林 辰雄 横田 勝利 佐藤貴玖子
 田中 眞

広報部

16頁に掲載。

競技部

これまでの東京陸協主催競技会を大幅に見直し、本年度は東京のチャンピオンや全国大会代表を決定する7競技会を開催することとなりました。実施する競技会については、盛り上がり効率化を目指し、前期ですでに4大会が終わりました。しかし、3月11日に発生した東日本大震災のため、東京選手権・東京ナイター陸上をはじめとして、当初の計画とは異なるものとせざるを得ず、来年度にむけて課題を残しました。



すでに平成24年度の競技場の確保及び競技会日程の策定、要項を中心とする競技会内容の検討に着手しています。

部長 大野 弘
 部員 曾根 弘道 山口 賢司 関根 春幸
 野末 雅文 岡本 信夫 茂木 弘樹
 西川 孝夫 長浜 和明 原 徹
 浜野 徳寿 今野 健 横山 弘

審判部

審判部は育成担当・編成担当・国体対応チームに任務を分担し、現場で起きる様々な問題を部会で議論し、改善すべき内容は大会に積極的に取り入れ反映させています。東京国体・日本選手権を2年後に控え、本年度は一部年齢制限を設けた審判編成の実施、スターターの英語化実務講習、フィールド競技における記録記入の標準化、監察員記録用紙の標準化等を行っています。



第94回日本選手権（熊谷）にトラック・フィールド・総務管理各部門の関係者を派遣し多岐にわたり視察いたしました。東京陸協の大会に反映して2年後に備える考えです。

部長 中野 人志
 部員 潮田 和男 鈴木 一弘 村田 延雄
 鐘水 正昭 古澤 幸男 石井 公一
 古家 誠一 梶原 克之 池田 演之
 折茂 晃 浜野 綾子 平田 房雄
 赤沼 正雄 菅野 利幸

記録情報部

業務としては、①公認記録申請、②年度末記録集作成に向けた記録収集、③IT機器講習会の開催、④IT機器の管理、⑤競技会記録ホームページ作成、⑥競技会申し込み受付等があり、分担して進めています。



課題として、①公認申請を行わない(記録が公認されない)競技会への対応、②部員のIT機器管理能力の向上、③IT機器を操作できる審判員の養成、④競技会申し込み受付要員の確保等です。

今後は、記録情報部員が活動をさらに充実させると同時に、関係部署と連携して課題を解決していきたいと考えています。

部長 川島 康男

部員 伊地知重信 杉本 太郎 赤峰 俊彦
 芦田 春幸 石井 智也 宇野 一茂
 岡田 晃 加藤 恭位 蒲牟田和彦
 庄田 修司 中田 千文 藤田 美和

普及部

8月26日・27日の2日間「第27回全国小学生交流大会」が横浜・日産スタジアムで開催されました。7月3日の予選会で選ばれた22名の代表選手は、8月6日の結団式に出席し、8月15日には合同練習会を行い、本番に備えました。



大会当日は心配された雨も競技開始時には上がり、やや蒸し暑い天候の中、女子走高跳で武田ひすい(BEST SPORTS)選手が見事優勝。その他4種目で入賞を果たしました。(東京陸協HPに掲載)

また、隔年で実施している「指導員養成講習会」が28名の受講生により8月にスタートしました。11月までの7回の講習で正しい陸上競技の指導法を学びます。日本陸上競技連盟のご厚意により、今回初めてナショナルトレーニングセンター(NTC)も会場のひとつとなり、板橋区立新河岸競技場、府中市民競技場と合わせて3ヶ所で行うことになりました。

部長 貫井 勝之

部員 鈴木 茂雄 氏部 和昭 一瀬 秀和
 川村 文夫 中野 浩 三須 久子
 大串 裕子 尾崎 京子 森本 哲哉
 井上 敏幸 平山 公紀 佐藤 隆史
 福澤 真吾 田中 征生

強化部

強化活動を下記の三つの柱に絞り、中・長期的な目標と具体的な計画を精査しながら活動を進めています。



- 1 東京国体優勝計画に沿った年4回の合宿による選手強化・上位入賞可能な選手の勧誘活動等
- 2 東日本女子・都道府県男子・都道府県女子駅伝それぞれ三位入賞を目標とする年三回の合宿と強化練習会の実施
- 3 中体連・高体連独自の強化活動を東京陸協強化部が統括し、拠点での種目別強化練習の推進
 現在、棒高跳拠点校を決定して年間計画のもと練習を実施し、中学生・高校生が多数参加しています。今後、普及部と連携を図り、U-12の普及活動もすすめていきます。

部長 水木 学

国体強化部長 大村 邦英

部員 中村 孝生 下山 良成 笠井 淳
 井部 誠一 児島 大祐 棟方 拓也
 福元 康貴 千野 達也 小林 隆雄
 樋口 広忠 慶徳 仁史 征矢 範子
 倉持 昇一 呑口 健 遠藤 尚考

競技場管理部

都内には今年度公認されている陸上競技場が27か所、長距離競走路が23か所あります。競技者が設備の整った条件のもとで実績を創りあげる舞台を整えるのが我々の役目です。現在、東京国体に万全の態勢を整えるべく、施設・設備の状況把握や検定立会などを実施しています。



また、部員は日本選手権(熊谷)の視察を行い、相互に課題付与をするなどしてレベルアップを図っています。前期は9ヶ所の競技会場でB級審判員54名が用器具係実技研修を受講しました。今後も、東京国体に向けて技術向上を図り、審判員一人ひとりが自信と誇りをもって、適切な活動ができるように継続的研修に取り組んでまいります。

部長 平塚 和則

部員 福島 信久 平塚 宜信 佐々木元稔
 嶋田 正 米岡 利昌 高沼 正利
 鈴木 明 新榮 宏茂 柏木 芳夫
 高木 良郎 飯村 光夫

特別部員 鈴木 存

2 特別委員会

(平成23・24年度役員名簿掲載の順とする)

女子委員会

女子サッカー「なでしこジャパン」の活躍は日本中に歓喜の渦を巻き起こしました。昨年、女子委員会が中心となっ



て開催した「第50回東京女子陸上競技大会」の成功も東京陸協の女性の力と内外からの支援の賜物です。今年度も、昨年に引続き社会貢献の一環として「ピンクリボン運動」に協力しつつ、女性審判員の増員と女性役員の競技会運営能力の向上を目指し、第51回大会(11月・駒沢)の開催に向けた準備作業を進めています。

今後の活動目標として、クラブチーム・中体連・高体連などと協力し、近県陸協との情報交換などにより、女性指導者の調査・増員・資質向上にも取り組んでいく予定です。

委員長 山崎壽美子

委員	田島佐代子	齋藤 文子	秋元 令子
	粟屋 澄江	安藤 真弓	小田切恵美
	上中 法子	坂上さと子	坂上 夏子
	中島 礼子	根尾 英子	三宅加代子
	本橋 郁子	森田 直美	

選挙管理委員会

本年2月に、平成23・24年度の東京陸協における事業をつかさどる理事選挙が実施されました。選挙にあたっては、理事会の決定に従い、選挙の必要性の事実を確認したうえで、定款に則り管理執行を会長の代行として実施しました。選挙管理委員会は、委員長以下9名で構成され、選挙の実施にあたっては、投票の管理・立会い・開票などを行い、公明な選挙活動に取り組んでいます。

委員長 中尾 敬司

委員	大谷 久知	雨宮 仁六	勝 愛子
	佐藤 光信	鈴木 明	梶沢 聖子
	川原 英昭	室井 宏一	山迺邊 昭

栄章審査委員会

6月に今年度最初の栄章審査委員会を開催しました。内容は委員の役割分担、昨年度採用項目や審査方針についての意見交換、23年度の会議日程ならびに23・24年度の作業項目について検討し案の作成を行いました。



9月には、栄章推薦申請書の発送作業を行うと共に、精績章の選考基準の見直しや他の課題についても順次議論を深め、今後の様々な事務手続きや審査に生かしていきます。

9月以降は各団体からの栄章推薦申請書受付や審査選考など重要な作業が続きます。

委員長 佐藤三千雄

委員	高地 貞雄	根本 俊臣	梶原 克之
	生方 文枝	室井 宏一	松本 忠
	井上 敏幸	松岡 保雄	中村 孝生
	有澤 政雄		

定款諸規程検討委員会

「定款」とは、東京陸協の組織や運営方法など基本的なルールを定めたもので、東京陸協ホームページに掲載しています。このほかに「運営規程」「栄章規程」「旅費支給規程」等を設け、円滑な運営を図っています。委員会では定款・諸規程を管理する中で、理事会から検討事項が提議された場合に委員による検討会議を行い理事会に報告・提案していきます。「定款の変更」などがあった場合には、理事会での承認はもとより、東京都教育委員会の認可をうけなければなりません。東京陸協の運営管理を担っていくため重要なそのほかの諸規程の変更・改正には、理事会や専務理事の承認で施行できるよう権限が委譲されているものもあり、業務の簡素化を図っています。

委員長 有澤 政雄

委員	青地 清助	石上 敬久	井上 克巳
	小林 稔	野澤 恒雄	松本 忠
	山口 賢司		

新公益法人移行準備委員会

従来の公益法人制度は明治29年の民法制定とともに始まり、平成7年3月28日社団法人東京陸上競技協会になりました。新公益法人移行は平成25年11月に完全移行となります。東京陸協は最終的には公益財団法人を目指すという目標を総会でも表明し、困難はありますが動き出しました。まずは現法人を一般社

団法人に移行することから始まります。

今後の予定は以下の通りです。

平成23年11月 加入団体への説明会の開催

平成23年12月 臨時総会 新定款を含め、一般
社団法人移行提案

平成24年1月 監督官庁への新法人認定申請

平成24年4月 一般社団法人としての事業開始

この間「定款諸規定の改定作業」「公益目的支出計画書作成」等を行い、監督官庁と十分な話し合いをし、新公益法人認定に向かっていきます。

委員長 有澤 政雄

委員 野澤 恒雄 野末 雅文 下田 智久

東京国体・日本選手権準備室

2年後の東京国体・日本選手権に向け、東京陸協内に20名の委員による「準備室」を設置しました。これまでの会議内容の主なものは以下の通りです。



各大会日程・内容の確認、味スタ諸室配置、競技運営業務分担、24年度東京選手権・国体時審判員補助員の服装他

7月25日には東京都・調布市・東京都障害者スポーツ協会・東京陸協共同の味スタとその周辺視察会を行い、課題を話し合いました。

国体も日本選手権も他の団体・組織との連携のもとで開催するものであり、現時点ではまだまだ調整が必要な課題が山積しています。

準備室のメンバーは大会運営・競技運営・強化推進の3分野に分かれ、今後は具体的な検討に入っていきます。

室長 鈴木 存

委員 和中 信男 有澤 政雄 野澤 恒雄

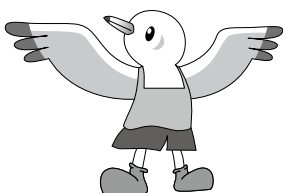
小松 邦江 貫井 勝之 中野 浩

田中 右一 川島 康男 中野 人志

潮田 和男 鈴木 一弘 大野 弘

山口 賢司 関根 春幸 平塚 和則

大村 邦英 中村 孝生 下山 良成



スポーツ祭東京2013
マスコットキャラクター
「ゆりーと」

東京マラソン東陸委員会

2007年2月18日。気温5度、小雨降る都庁前を3万人のランナーがスタートした「第1回東京マラソン」から4年が過ぎ、「第6回大会」の準備も着々と進んでいます。昨年東京マラソン財団が発足して事務局も都庁から有明に移りました。安定した財団運営・的確な競技運営を目指して管理・運営・マーケティングの3部門に分かれて業務を開始しています。

東京マラソン東陸委員会は、専務理事を筆頭に総務・財務・競技・審判・記録情報・競技場管理の専門部各部長とマラソン事務局1名の8名で構成され、過去の大会の反省や課題を踏まえ、これまで以上の競技運営を目指しています。競技運営に最も重要な競技役員の方針についても、検討に入っています。すでに7回の委員会を開催し、財団との調整協議を実施するとともに、財団に東京陸協の委員を派遣するなど、より緊密な連絡調整を行っています。

委員長 田中 利雄

委員 中野 人志 有澤 政雄 野澤 恒雄

大野 弘 川島 康男 平塚 和則

井上 克巳

競技運営委員会

昨年度の委員会で東京陸協主催・共催競技会の統廃合、運営方法の検討、経費の削減などについて討議をした結果、主催競技会は7大会とし、本年度前期で4大会を終了しました。各競技会についてそれぞれの項目の精査を行い次年度へつなげていく考えです。「東京選手権」も、更に競技会のレベルアップを図るべくハイレベルな出場選手の誘致、審判員の技術向上などを踏まえてサーキット競技会への路につなげたいと考えています。競技会における設備上のトラブルにも速やかな対処方法を考察し、選手に迷惑のかからない運営を構築いたします。震災の影響もありましたが、「ナイター陸上」ではトップアスリートの協力をいただき、盛大に開催できたことに感謝しています。

2年後の東京国体を成功させるために、競技運営にたずさわる一人ひとりが問題意識をもって課題解決に取り組んでまいります。

委員長 川島 康男

委員 大野 弘 山口 賢司 曾根 弘道

中野 人志 潮田 和男 平塚 和則

田中 右一 伊地知重信

医事委員会

1 救護活動

医事委員会の活動の第一は競技会での救護活動です。他府県の陸協では医事委員会から医務員が出席するようにしているところもみられますが、東陸では、審判部から委嘱を受けた審判員が医務員として出席する形式をとっており、医事委員会は委嘱には関わっておりません。



東京マラソンでは、東京陸協医事委員長が「医事部会」に参画し、医療救護活動の企画・実施を行っています。HPには「メディカル情報」を掲載していますのでご覧ください。

2 救急救命講習

今年から総務部と連携して「救急救命講習」を実施しています。競技会の現場で、競技役員のうち誰もが救命処置をできるようにし、救命率を上げられるようにしようというものです。心停止を防ぐことはできませんが、救命処置により死亡例を減らすことは可能です。

委員長 三橋 敏武

委員 島村 雅之 立川 久行 坂上さと子
大木 亮子 岡野 裕 寺嶋 毅
兵藤 博信 長島 正樹 塚原 由佳

マーケティング戦略室

財務マーケティング戦略室は、文字通り安定的な財源を確保するため活動することが大きな役割の一つです。そのため昨年からの年間スポンサーとしてゴールド1社、シルバー数社の協賛社確保に成功し、ある程度の成果をもたらしました。これは年間20ほどの大会をまとめてセールスすることで、効率良く収益を上げることが目的です。しかし収益性を求める民間会社と違い、東陸は公共性が最優先され、普及・強化といった側面が強いため、これらに賛同する協賛社を見つけることは今日の経済状況を考えると限界があります。

そこで今秋に「味の素スタジアム耐久リレーマラソン」という収益目的の大会を企画しました。企画段階からスポンサーを意識し、なおかつ陸上の初心者も参加し易く、家族やグループが楽しめる市民参加型の大会にすることが主旨です。平成25年のスポーツ祭東京(国体など)のメイン会場で定期的な大会を行うことは、東陸としても重要案件の一つです。数年後の安定的な黒字事業を目指し、関係諸氏の協力を得ながら成功に導きたいと考えています。

室長 田中 利雄

委員 大槻 高弘 島村 雅之 内田 勇
馬場 孝 佐藤三千雄 大野 弘
中村 孝生 田中 右一 関 幸生
奥 裕之 穴戸 正弘 浦久保和哉
大野 弘 野末 雅文 野澤 雅文
野澤 恒雄 川島 康男 石上 敬久
曾根 弘道 潮田 和男 野末 雅文

3 協力団体

東京都中学校体育連盟陸上競技専門部

東日本大震災の影響を受け、昨年度末に予定されていた合宿や練習会の中止を余儀なくされ、各校における練習の制限等も加わり、今年度の陸上競技シーズンの幕開けは不安でいっぱいでした。

5月・6月にまたがって地域別大会(都大会予選)、7月9・10日の都総体、7月22・23日の通信陸上大会で、男・女合わせて34名(リレー男・女1チームを含む)が全国大会の切符を手に入れることができました。

8月8・9日山梨で開催された関東大会で東京は10種目の入賞で6位。男女総合4位。3位の壁は今年も破ることができませんでした。

全国大会は8月19日～22日鴻ノ池(奈良)で行われ、女子100mハードルで澤田イレーネ(調布第四)選手が見事優勝。その他男子2名・女子3名が入賞しました。(東京都中体連HPに掲載)

連絡理事 山口 賢司

東京都高等学校体育連盟陸上競技部

未曾有の大地震が残した爪痕により、今尚多くの方々のご苦勞している北上の地で23年度全国高校総体が行われました。東京高校が男子総合の部で悲願の初優勝を果たし、東京都高体連としては49年ぶり、その存在を全国に強くアピールしてくれました。詳しくは高体連公式HPをご覧ください

東京陸協という「恵まれた土壌」で芽生えた「前途有望な若い芽」(小学生、中学生達)をあずかり、大輪の花を咲かせるための育成期間が我々高体連の使命と考えています。東京陸協のご協力を賜り、小学校・中体連・学連・実業団の皆様と手を携えながら「強い東京」を全国に示すことができるよう精進してまいる所存です。

連絡理事 福元 康貴

関東学生陸上競技連盟

本年度、加盟・登録数は男子142校5,381名、女子113校1,048名です。

関東インカレは大正8年に始まり今年度は90回大会を5月に4日間に亘り国立競技場で開催しました。6月には全日本大学駅伝選考会を国立競技場、7月には、代々木公園陸上競技場でサマー・ゲームズ（電力不足を考慮し、昨年までのトワイライトゲームズを日中に実施）を開催しました。東京陸協のご協力により成功裡に終了することができました。7月にベルギーとスイスでのヨーロッパ転戦、8月には審判講習会を行いました。

後期に入りますと9月に関東新人、10月に箱根駅伝予選会、11月には10000m記録挑戦競技会と続き、明年1月2日・3日には一大イベントである第88回箱根駅伝が控えています。今後とも、東京陸協にご協力いただき、よりよい大会を作り上げていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

連絡理事 関 慶太郎



事務局

陸上競技に熱心に取り組み、将来の東京陸協のことを真剣に考えている役員の方々の情熱を日々感じながら、できる限りのサポートをさせていただきます。

接客、電話対応、書類の作成・送付、会計処理、登録関係業務、各専門部との折衝、大会準備等事務局の仕事内容は様々ですが、特に気をつけているのは「電話対応」です。相手が見えない分、東京陸協の窓口として失礼のないよう対応しなければなりません。特に最近では、今年度から導入された「新登録システム」についての問い合わせが多く、事務局としてもまだまだ完全に把握できていないところもあり、ご迷惑をおかけしているかもしれません。しかし、会員の皆様のご協力のおかげで、新登録システムの稼働率はほぼ100%です。この分野では、日本陸連加盟団体の中では日本一の団体であると自負しております。ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

業務課長 下田 智久

業務主任 船原 麻子

実業団

東京には実業団チームを統括する組織はなく、都内の実業団チームは「東日本実業団陸上競技連盟」に登録しています。しかし、国体・各種駅伝では実業団選手を含めた東京チームを編成するため、東京陸協と実業団との連携が必要です。本年度の国体は終了しました。東京の実業団を代表する連絡理事は、強化部と連携して今後の東日本女子駅伝・都道府県対校男子・女子駅伝の選手選考に入ります。

連絡理事 中村 孝生



東京マスターズ陸上競技連盟

「東京マスターズ」は、暁の超特急で知られる故吉岡隆徳氏を代表として、1980年に発足し、現在まで31年の活動歴を誇っています。気楽に得意とする競技に出場するもよし、新しい種目に挑戦して記録志向もよし、健康のためでもよし、自分の体力と人生観に従って「陸上競技」を楽しんでいます。若年層には「準会員」制度を設け、競技への参加を募っています。7月6日からアメリカ・サクラメントで開催された世界マスターズには東京マスターズ登録の13名が参加。8月26日からの日本マスターズ（和歌山）には67名（男61・女6）が参加しました。

連絡理事 五味 恵

-今後の主な競技会と陸上教室.....
- ▼主催競技会
 - 24. 1. 1 第60回元旦競歩
 - ▼共催競技会
 - 23. 12. 18 神宮外苑 '11EKIDEN 20K
 - 12. 18 第7回小学生駅伝・ロードレース
 - 24. 2. 19 第46回青梅マラソン
 - 3. 18 2012板橋Cityマラソン
 - ▼主管競技会
 - 24. 2. 26 東京マラソン2012
 - ▼その他
 - 23. 12. 4 いたばしリバーサイドハーフマラソン
 - 24. 1. 15 新宿シティハーフマラソン
 - 24. 2. 12 赤羽ハーフマラソン
 - 23. 12. 18 高体連強化競技会
 - 24. 3. 20 高体連強化競技会
 - ▼小学生陸上体験教室（詳細は東京陸協HP）
 - 23. 12. 10 羽村市第三中学校
 - 24. 1. 21 日本女子体育大学
 - 24. 3. 10 板橋区立高島第一中学校

東日本大震災復興支援 第66回国民体育大会陸上競技会

山口国体を終えて

国体強化部長 大村 邦英

「おいでませ!山口国体」。第66回国民体育大会陸上競技は10月7日からの5日間、山口市の維新百年記念公園陸上競技場で開催されました。開会式では東日本大震災の復興支援を掲げ、東北の地で採火した「炬火」(きょか)をリレーして点火しました。東北エリアの選手団が入場するとひととき大きな歓声と拍手が競技場全体からあがり、とても印象的でした。

東京陸協は今回の大会を、2年後の東京国体を見据えての足がかりと考えました。選手選考の方法に標準記録を設定し、ハイレベルの選手を選考したうえで、選手団を編成しました。(東京陸協HP掲載・スタッフは次頁)



(中央大)ケンブリッジ飛鳥(東京高)大澤裕輝(八王子高)選手のオーダーで、39秒92の東京新記録をマークし、2着となりました。

女子は、少年女子共通棒高跳で小山智子(明星学園高)選手が3m55で3位に入賞しました。

国体第2日目の10月8日、競技場にて日本陸上競技連盟栄章授与式が執り行われました。東京陸協からは、永年東京陸協のためにご尽力くださいました佐藤三千雄氏(練馬アスレチッククラブ)と野澤恒雄氏(有楽陸友会)が秩父宮章、熱心に競技者の指導に当たってこられた川島康男氏(日本工業大学駒場高校教諭)が高校優秀指導者章、大角弘氏(三鷹市立第二中学校教諭 当日欠席)が中学優秀指導者章をそれぞれ授与されました。

結果として陸上競技男女総合成績8位、女子15位でした。当初、男女総合3位の目標で挑んだものの、至らなかったこの結果を真摯に受け止め、さらなるステップアップを考えなくてはなりません。



上位入賞は、成年男子A100mで川面聡大(中央大)選手が自己ベスト10秒22で2着となりました。この記録は東京新記録であり、来年のロンドンオリンピックB標準(10秒24)をもクリアしました。成年男子走幅跳では、猿山力也(モンテローザ)選手が7尺71で3位。成年少年400mリレーでは、女部田亮(中央大)川面聡大



◎山口国体スタッフ

団 長	馬場 孝	桜門陸友会	コーチ	倉持 昇一	打越中教
副団長	鈴木 存	八王子A C		征矢 範子	筑波大附高教
副団長	田中 利雄	立川陸協		千野 達也	保善高教
総 務	野澤 恒雄	有楽陸友		山村 貴彦	城西大城西高教
総監督	大村 邦英	東京高教		新井 智之	明中八高教
男監督	水木 学	田無四中教		児島 大祐	東京陸協
女監督	下山 良成	あきる野西中教		小林 直恵	東京高教
監督補佐	中村 孝生	エスピー食品	トレーナー	小沢 未菜	リニアート
コーチ	西川路健児	本郷高教		常友 綾二	リニアート
	遠藤 道男	白梅学園高教	庶 務	正川 澄夫	都南平高教
	福元 康貴	学芸大附高教		橋口 広忠	大妻多摩高教
	小林 隆雄	東京高教			

不正スタートは発見装置で確認

—2011世界陸上の悪夢—

8月・韓国・テグ、世界が驚愕した男子100m決勝。SEIKOのスターティングブロックは、フットプレートにかかる圧力の変化をセンサーで検出して選手のリアクションタイムを記録します。この不正スタート発見装置に記録されたウサイン・ボルト（ジャマイカ）の100m決勝リアクションタイムは-0.104秒。ピストルが鳴る前にスタートしてしまいました（図1）。

人間が音に反応する時間は1000分の100秒以上かかることが実証されており、ピストルが鳴った後1000分の100秒未満のリアクションタイムは装置により瞬時に不正スタートと判定され、装置からリコール音が発信されます。

男子200m決勝で最も速い反応を示したのはR・ソリロ（トリニダードトバゴ）で0.122秒（図2）。19秒40の世界新記録をマークしたボルト選手は、不正スタートを恐れてか0.193秒と最も遅い反応でした（図3）。

2009年ベルリン世界陸上でのボルト選手の100m決勝リアクションタイムは0.146秒。8選手のうち6番目でしたが、9秒58の驚異的な世界新記録をマークしました（図4）。

①ピストル音 ②1000分の100秒 ③反応開始時

図1

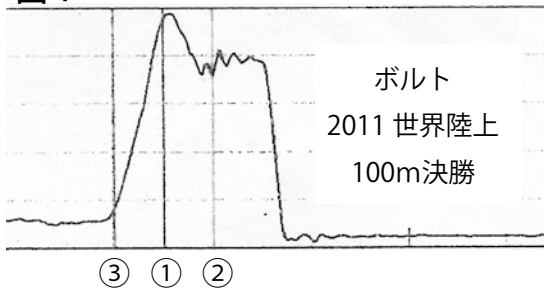


図2

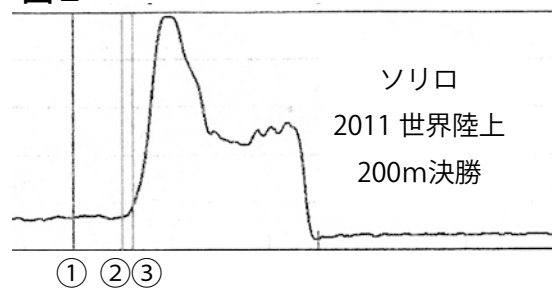


図3

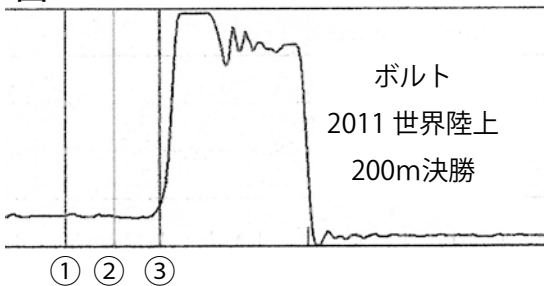
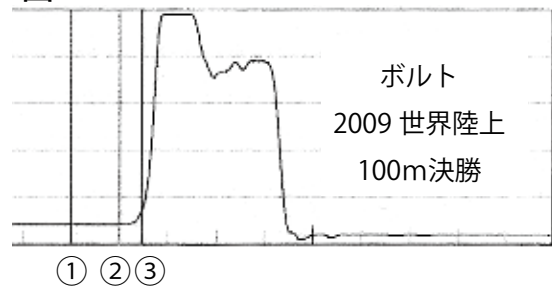


図4



上記資料はSEIKOが作成したものです。東京陸協元理事・全国陸上競技スターター研究会代表野崎忠信氏から提供していただきました。

東京陸協登録選手 国際大会で活躍

●第19回アジア陸上競技選手権 兵庫・神戸大会 (2011年7月7日～10日)

氏名	所属	種目	順位	結果
川面 聡大	中央大学	100m決勝	3位	10"30 /+1.8
		4×100m決勝	優勝	39"18 /一走
小林 雄一	法政大学	200m予選	3組7位	32"11 /+2.1
		4×100m予選	2組1位	38"92 /一走
横田 真人	富士通	800m決勝	4位	1' 47"05
佐藤 悠基	日清食品グループ	5000m決勝	2位	13' 40"78
宇賀地 強	コニカミノルタ	10000m決勝	4位	28' 48"53
八幡 賢司	モンテローザ	110mH決勝	5位	13"96 /-0.8
猿山 力也	モンテローザ	走幅跳 決勝	3位	8m05 /+1.2
土井 宏昭	ITカンファ	ハンマー投決勝	3位	70m69
田中 宏昌	モンテローザ	十種競技 決勝	4位	6803点
田子 雅	J.VIC	400mH決勝	4位	57"35

●第7回世界ユース陸上競技選手権大会 フランス・リール (2011年7月6日～10日)

氏名	所属	種目	順位	結果
三武 潤	城西大学城西高校	800m準決勝	1組6位	1' 51"68
打越 雄允	國學院大學久我山高校	3000m決勝	10位	8' 14"91
高畠 匠	東京高校	110mH決勝	5位	13"71 /+0.1

●第13回世界陸上競技選手権大会 韓国・テグ (2011年8月27日～9月4日)

氏名	所属	種目	順位	結果
川面 聡大	中央大学	4×100m予選		補欠
小林 雄一	法政大学	200m予選	3組7位	21" 27/-1.1
		4×100m予選	2組4位	38"66 /一走
横田 真人	富士通	800m予選	2組6位	1' 47"60
佐藤 悠基	日清食品グループ	10000m決勝	15位	29' 04"15
絹川 愛	ミズノ	5000m予選	2組8位	15' 31" 09
		10000m決勝	17位	34' 08" 37
赤羽有紀子	ホクレン	マラソン	5位	2:29' 35"
尾崎 好美	第一生命	マラソン	18位	2:32' 31"
野尻あずさ	第一生命	マラソン	19位	2:33' 42"

実り多きアジアインターシティ陸上競技大会

国体強化部長 大村邦英

8月27日・28日の両日、台湾の台北市陸上競技場に9カ国・16の都市から600人の高校生が参加して開催されました。

折しも、台風11号の接近と秋雨前線の活発化で大荒れの競技会となりましたが、高校生が海外へ遠征する機会がない現状では、この大会のもつ意義は大きく、日本のみならずアジアのジュニア育成に大いに役立ったと確信して

おります。

東京選手団は12名(男6名・女6名)の精鋭で編成され、競技においても、9個の金メダルと3名が

自己新記録樹立、東京高校のケンブリッジ飛鳥選手は最優秀選手に選ばれました。

今後も、海外遠征の充実で日本を代表するアスリートが世界ではばたける基盤を創っていききたいと思います。



たけでくし 東京高校

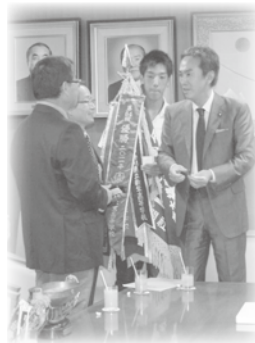


東京高校は、震災の被害に立ち向かう岩手県北上市で8月に開催された全国高校総体（インターハイ）で悲願の男子総合優勝を成し遂げました。男子で東京の高校が優勝したのは49年ぶりのことです。大村邦英監督と小林隆雄・田島恵・小林直美・醍醐奈緒美コーチ陣、学校関係者・卒業生・保護者等多くの方たちの気持ちが選手とひとつになって勝ち得た優勝です。



9月6日午後4時、校長・監督・入賞選手7名は石原伸晃東京陸協会長に優勝報告をいたしました。自民党本部総裁室に案内され、選手一人ひとりが自己紹介と競技成績・今後の目標を述べ、会長からねぎらいと激励の言葉をいただきました。

会長も大変お慶びで、選手全員に会長筆耕の色紙をプレゼント。最後は会長の音頭で万歳三唱となりました。



9月中旬の日曜日、東急電鉄多摩川線「鶉の木」駅を降りて多摩川河川敷方向に歩くこと400m。東京都大田区鶉の木2丁目の「学校法人上野塾 東京高等学校」を訪問しました。陸上競技部員は男子58名・女子37名。

朝から気温30度を越える中、休日にもかかわらず陸上競技部員は熱心に練習に取り組んでいました。今後の更なる活躍を期待いたします。



各地で「ジュニア陸上教室」開催

さわやかな秋空の下、各地で「ジュニア陸上教室」が開催され、多くの参加者がありました。いずれも、日本を代表するアスリートの指導とあって、各会場ともおおいに賑わい、指導者のパフォーマンスに熱い視線が注がれました。

立川市陸上競技協会

4月から毎日曜日に立川競技場で小・中学生を対象とした「陸上競技教室」を開催しています。9月18日には混成競技の日本記録保持者・右代啓介選手ややり投げの日本記録保持者・海老原有希選手を招き、陸上競技の基本トレーニングや両選手の模範演技を交えた技術指導を受けました。この日は朝から暑い太陽が照りつけていましたが、それを上回るかのような熱い指導と175名の参加者の意欲が一体となってすばらしい講習会となりました。受講生の様々な質問にも丁寧に答えてくださり、参加者は多くのことを学んだことでしょう。



最後に、右代選手・海老原選手から今後の抱負などの話があり、会場に集まった全員で「オリンピックに向けて頑張ってくださいーい」とエール送りました。

目黒区陸上競技協会



毎年9月に区内小・中学生を対象とした「ジュニア陸上教室」を開催しています。今年も9月25日には駒沢公園陸上競技場に将来のアスリートを目指す人、陸上競技の基本から学びたい人など150名もの参加がありました。

指導者は慶應義塾大学競走部の現役部員25名。トラック・フィールドの6ブロックに分かれ、指導者自ら実技を披露、真剣勝負の場では見ることのできない笑顔のコーチングで厳しい中にもなごやかな楽しい講習会でした。

秋のシーズンを目前に控える中学生の一人は「今度の大会では好記録が出そう!」と満足そうでした。

ミズノ陸上クリニック

10月16日、国立競技場で開催された「2011東京アスレチックチャレンジ」で競技会と合わせて、株式会社ミズノの主催による「陸上競技クリニック」が行われました。室伏広治選手をはじめ、競技に参加したトップアスリートから直接指導していただくとあって多くの参加者がトラックに集まりました。各ブロックに分かれて基本動作の反復練習や日ごろとちょっと違った動きに、参加者には笑顔もありフレッシュさを感じた様子でした。1時間ほどのワンポイントレッスンではありましたが、トップアスリートから学んだ成果はきっと大きなものだったでしょう。明日からの練習につなげて欲しいと思います。



写真ニュース



第74回東京選手権
男子5000m
(23.4.30~5.1) 国立



第74回東京選手権
男子110mハードル
(23.4.30~5.1) 国立



時間を繰り上げ開催
第2回東京ナイター陸上
(23.7.17) 国立



ミスト扇風機の前で癒す
第2回東京ナイター陸上
(23.7.17) 国立



第27回東京リレーカーニバル
中学生女子800m
(23.6.4~5.1) 夢の島



第27回東京リレーカーニバル
小学生男子走幅跳
(23.6.4~5.1) 夢の島



第27回全国小学生東京都予選
女子800m
(23.7.3) 駒沢公園



第27回全国小学生東京都予選
男子(6年)100m
(23.7.3) 駒沢公園

写

ス

東京がひとつになる日 東京マラソン2012

2012.2.26

「東京マラソン2012」にむけて、東京陸協の準備がいよいよ本格的に動き始めました。昨年「東京マラソン財団」が設立され、今回は財団と東京陸協が一体となって綿密な連携を取り、開催準備を進めています。財団の事務局は東京都庁からお台場に移り、東京陸協派遣の事務局員も駐在しています。



東京マラソン東陸委員会は本年度に入って数回の委員会を開催し、9月には競技運営で中心となる審判員の編成について正副ブロック長の選考から検討に入りました。過去5回の大会を終わり、経験なども配慮しつつ配置しました(下表)。9月末に第1回目正・副ブロック長会議を開催しました。東京マラソン委員会の委員長でもある田中専務から叱咤激励のあいさつをいただき、財団事務局東京陸協派遣の井上克巳委員から前回の反省点と今大会の変更点の説明が行われました。主な変更点は以下の通りです。



- (1) オリンピックイヤーの今大会はロンドンオリンピック男子の代表選手選考レースとなる。
- (2) 参加選手の募集は36000名。10kmは従来の3000名から500名となり、障害者と新設された16歳～18歳(U-18)までのランナーに限定した。

「東京マラソン2012」 ブロック長・副ブロック長

ブロック	ブロック長	副ブロック長
スタート	染谷 実(江戸川区)	池亀 太郎(豊島区)
新宿・飯田橋	松下 捷三(八王子市)	雨宮 二六(有楽陸友会)
大手町・日比谷	折茂 晃(東京都庁)	高尾 國男(板橋区)
芝	古澤 幸男(三鷹市)	三浦 敬司(板橋区)
品川	峰尾 公次(八王子市)	廣瀬 文夫(豊島区)
銀座・日本橋	矢作 和昭(葛飾区)	五味 恵(有楽陸友会)
人形町・水天宮	長谷川 博(大田区)	梅澤 勝彦(八王子市)
蔵前・浅草	石井 公一(東京ラビッツ)	鎗水 正明(板橋区)
築地・佃	宝田 功(板橋区)	加藤 久男(警視庁ク)
豊洲・有明	大泉 雅靖(三鷹市)	小野瀬正博(渋谷区)
10kmフニッシュ	村田 延雄(警視庁ク)	—————
マラソンフニッシュ	梶原 克之(江東区)	佐藤三千雄(練馬区)

10kmの2500名はマラソン枠に加算される。今回は東日本大震災に関連した方々100名程度の特別枠を設けてある。8月末の締切り時点でマラソンの部は「9.6倍」の28万2824名もの応募があった。

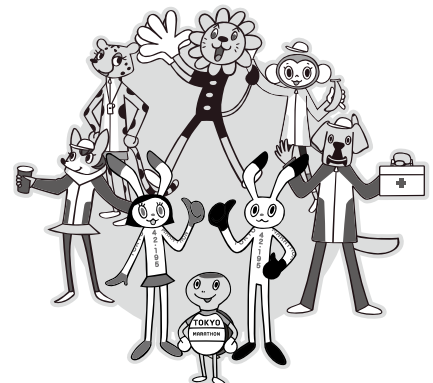
- (3) 従来使用していた「ICチップ」の回収は行わない。完走者はナンバーカードにパンチで穴を開けてもらい完走メタルの授受となる。途中棄権したランナーはナンバーカードの一部を切除される。
- (4) 15km～38kmの関門閉鎖時刻に一部変更がある。また、新たに41.5kmに関門が新設される。
- (5) 10kmの部のスタート地点・ゴール後の表彰会場が変更になる。

この他検討課題はまだまだ山積しており、関係者の会議を通して最善の対処策を出していかなくてはなりません。財団・委員会・事務局をはじめとする関係団体の適正な調整が望まれます。



東京陸協審判員の配置については各種会議で意見交換がなされており、委嘱状発送は11月～12月を目処に検討しています。

東京マラソン財団では、2012大会の公式サイトを6月に立ち上げ、進捗状況を随時発表しています。審判員として必要事項も目にする事ができますので、是非ご覧ください。



「東京マラソン」
マスコットキャラクター誕生

Topics

▼救急救命講習会

東京陸協主催の救急救命講習会が7月・9月・10月に東京陸協会議室(6階)で行われました。参



加者は3回で68名。東京防災救急協会の野口英一氏ほか協会指導員10名から応急処置の必要性、心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)の使い方、気道異物除去等について約3時間にわたる講習を受けました。今後11月・12月にも開催します。ふるってご参加ください。

▼暑い夏にはハーフパンツ

今年の夏は「異常な夏(気温上昇)」と報じられるほど暑い毎日でした。

東京陸協ではそれを予期してか、暑さ対策の一環として6月から9月の間は審判員の服装について、指定した「ハーフパンツ」着用を認め、各競技会場や東京陸協事務局での販売を行いました。それに伴い、ハーフパンツの際は白靴の着用も認めました。



「スマートでかっこいい」との声がある反面、今までにないスタイルに躊躇する審判員も…。

▼渋谷区陸協の関幸生氏、世界の舞台へ再選

国際陸連(IAAF)総会が、第13回世界選手権開幕に先立つ8月24・25日に韓国・テグで開催され、理事と委員会メンバーの選挙が行われました。そのひとつ、競技ルールなどの重要事項を審議する「技術委員会」委員に東京陸協会員(渋谷区)の関幸生氏(日本陸上競技連盟)が高得票で再選されました。任期は4年です。



▼国立競技場建て替えへ

わが国陸上競技の聖地・国立競技場は、第3回アジア大会・第18回オリンピック東京大会のメインスタジアムとして旧神宮外苑競技場跡地に1958



年に完成し、陸上競技をはじめ、サッカー、ラグビー等のスポーツだけでなく、コンサートなど多種にわたるイベントが開催されてきました。

報道機関等の情報によりますと、文部科学省が国立競技場の建て替えについて、来年度の予算案に調査費を計上することを発表しました。費用は800億~1000億円を見込んでいます。

東京陸協が長年切望してきた「国立競技場の建て替え」がいよいよ実現しそうです。

▼話題の一冊を紹介



『早稲田大学競走部のおいしい寮めし』主婦の友社(2011年10月1日発行)1200円

管理栄養士「福本健一」さんが作る一汁三菜の早稲田大学競走部寮めし140種を全公開した注目の料理本。

近年の早稲田大学競走部の強さの秘密は合宿所の「おいしいごはん」にありました。現役部員の語る寮めしの威力も満載されています。

健康で快適な身体を手にいれることができれば人生そのものが変わるでしょう。

▼聖火台が磨き上げられた

秋空にむかって、そびえ立つ「聖火台」。製造者の鈴木文吾氏の家族などで毎年磨き続け



てきたが、室伏広治氏(ミズノ)の発案で、競技会の中でイベント化してみんなで聖火台を磨くこと今年で3回目。小・中・高校生と一緒にゴマ油を使って磨きあげられ、再び黒く輝きを取り戻した聖火台は、ロンドンへ向けてエールをおくっているかのように見えました。

Topics

広報部はリニューアルしました

東京陸協は昭和41（1966）年7月5日にB5判横書き白黒印刷の「東京陸協会報」を創刊しました。1部50円で販売していたようです。その後A4判になり、「飛翔」と命名され、カラー化する等の変遷を辿りながら東京陸協の様々な出来事を会員にお知らせしてきました。



東京陸協の役員改選により平成23・24年度の新たな広報部が組織され、まずはじめに「時代の変化に対応した東京陸協広報部の役割は何か」を話し合いました。

- 1 東京陸協の会員が繋がる会報の発行
- 2 みんなが見たくなる・すぐに役立つホームページの作成・管理
- 3 マスコミ等への東京陸協PR
- 4 東京陸協80周年（平成27年）に向けての資料整理

まず「会報班」と「ホームページ班」に分かれて新しい方向を目指して検討を始めました。

会報はA4版・白黒・横書きとし、内容も工夫しました。予定より遅れましたが、この度97号を皆様のお手元にお届けすることができました。ご高覧・ご高評いただきたく思います。

ホームページは東京陸協会員ばかりでなく、不特定多数の誰も見ることのできるものです。会員への情報伝達の即時性・利便性だけでなく、一般の方が見て楽しい・見たら陸上競技ファンになる・審判員になりたいくなる…。そのようなホームページを目指して議論を重ねています。もうしばらくお待ちください。

広報部は、常に「不易流行」を念頭において活動してまいります。

部長 小松 邦江

部員 大槻 高弘 高祖 勝市 森中カツミ 岡松 武司 長谷川 博
関 幸生 長井 健

特別部員 佐藤 良男

平成23年度 賛助会員

4月28日以降にお申込みいただきました方のお名前を記載させていただきます。

若林 辰雄 (JP東京RC)	加藤 春雄 (練馬区陸協)	福島 雄吉 (北町陸上クラブ)
伊藤徳之助 (有楽陸友会)	大内 邦彦 (大田区陸協)	嶋田 正 (小平市陸協)
馬場 孝 (日大桜門陸友会)	平塚 和則 (警視庁クラブ)	森中カツミ (東村山市陸協)
菊川喜久男 (杉並AC)	井上 賢治 (町田市陸協)	福田 光弘 (杉並AC)
峰尾 公次 (八王子市陸協)	岡田 晃 (マツ株式会社)	篠原 庸雄 (練馬AC)
潮田 和男 (北区陸協)	平塚 宜信 (大田区陸協)	平内 誠
石井キヨ子 (渋谷区陸協)	田中 克美 (警視庁クラブ)	伊藤 慎一
岩崎 徹 (江東区陸協)	川鍋 衛 (杉並区陸協)	星野 正行
和地 有三 (世田谷私学クラブ)	金子 正芳 (東京ランニングクラブ)	浅野 宣義
小松 邦江 (東京茗友クラブ)	山口 一男 (JR東日本東京)	増岡 秀一
岡村 定夫 (豊島区陸協)	石田 良子 (狛江市陸協)	多田納 哲
赤沼 正雄 (JR東日本東京)	下田 喜一 (武蔵村山市陸協)	飯野 秋治
中村 公彦 (府中市陸協)	有澤 政雄 (横河電機)	島田 博行
豊島富美子 (板橋区陸協)	田中 正治 (JR東日本東京)	
長岡 俊男 (狛江市陸協)	田中 利雄 (立川市陸協)	

本年度の賛助会員は10月17日までに167名からお申し込みいただきました。

訃報

- 5月17日 横溝辰美氏 (73歳) 逝去
渋谷区体育協会副会長
- 7月7日 篠原庸雄氏 (67歳) 逝去
東京陸協前連絡理事 (マスターズ)
練馬AC副会長
- 10月29日 浅海 武氏 (96歳) 逝去
東京陸協顧問・元理事・元事務局長
江東区陸協顧問・元副会長

編集後記

各地から紅葉の便りが届いています。秋も深まってまいりました。新メンバーとなりました広報部での会報97号編集作業開始が7月。記録的な暑い夏、福島原発事故による節電が叫ばれる中、会議と取材・原稿書きを続けるうちにトラックシーズンもほぼ終わり、マラソン・駅伝のニュースが騒がしくなってきました。「東京陸協会員で作る東京陸協会報!」です。つぎの発行は桜の便りが聞こえてくるころを予定しています。会員からの情報をお待ちしています。投稿も大歓迎です。(K)

本会報掲載氏名は東京陸協役員名簿・公認審判員名簿より転載しました。

第17回都道府県対抗男子駅伝 東京チーム準優勝!

4頁に掲載

東京陸協ホームページ リニューアル!



ごあいさつ

会長 石原 伸晃

東京陸協加盟団体・登録会員の皆様、平素から当協会のために多大なご尽力、ご支援を賜り、会長として厚く御礼申し上げます。

皆様と接する機会が少なく、失礼しておりますが、私にとりましては陸上競技の動静は大変気になるところです。少しでも皆様のお役に立てればと常に思っております。

さて、東京陸協は会員の皆様のご理解とご賛同を頂き、この度一般社団法人への移行が決定し、4月1日以降新法人として事業展開の運びとなりました。3万人を超える登録会員を抱える東京陸協として陸上競技の社会的な価値を高め、広く陸上競技の普及に一層の力を注いでいかなければならないと考えています。

このところ明るい話題が届けられております。インターハイに於ける東京高校の総合優勝という46年ぶりの快挙に続き、全日本実業団女子駅伝の第一生命の優勝、新年の全日本実業団男子駅伝の日清食品グループの優勝と東京陸協加盟団体の相次ぐ大活躍、更に、第17回全国都道府県対抗男子駅伝に於ける東京チームは準優勝と大躍進、過去の最高成績9位を大幅に更新するなど、東京陸協の掲げる「強い東京」から「勝つ東京」のスローガンが、ようやく着実に実践されその成果が表れて来たものと大変うれしく思います。

2013年の国体開催都市として、陸上競技の成果が注目を浴びております。主管陸協として運営全体の責務はもちろん、選手の強化も重要です。東京陸協が今こそ一致団結し、大会の成功に向けて万全の体制で臨んでいかななくてはなりません。会員の皆様のご声援とご協力を心よりお願い申し上げます。



みんなの気持が ひとつになって

専務理事 田中 利雄

平成21年度に専務理事に着任して3年が経過いたしました。この間「費用対効果」を念頭において様々な事業を見直し、更に「マーケティング戦略室」を立ち上げ、全方向から資金の捻出に取り組んでまいりました。ここ数年会員が増え、新たな事業の開発も可能な状況になってきております。また「勝つ東京」を前面に打ち出して強化に取り組む、都道府県男子駅伝の準優勝等の成果に繋がっています。東京陸協

が一体となって大きく動いています。

昨年度一年間をかけて検討してまいりました一般社団法人への移行も、2月の臨時総会で承認頂き、いよいよ24年度からスタートいたします。しかし、東京陸協がめざすのは「公益財団法人」であり、早速準備を始めることとなります。

2013年の「東京国体」まで1年です。しかし、本年度の東京選手権は国体会場である「味の素スタジアム」のこけら落としの大会であり、国体のリハーサル大会と位置づけており、いよいよ国体が動きだします。

本年の取り組みが来年の国体・日本選手権の成功を左右いたします。完璧な準備と規律ある行動で全国のお客様をお迎えしたいと考えております。

平成23年度臨時總會報告

日時 平成23年12月8日(木) 18:00～
場所 立正大学 大崎キャンパス
出席 308名(出席者79名 表決書提出者229名)
欠席 84名
議長 佐藤三千雄(練馬アスレチッククラブ)
井上 克巳(立川市陸協)
議事 日程第1 第6号議案
新法に基づいて一般社団法人東京陸上競技協会への移行認可申請についての承認



今回の新法人認可条件として「新しい定款」と「公益目的支出計画」の作成が必要条件となっており、新公益法人移行準備委員会(委員長・有澤政雄)が作成した案の説明が行われました。説明に対し、「財団法人と社団法人の違い」「役員任期」「自前の事務所所有について」「代議員とは」等の質問が出され、それぞれの回答がありました。東京陸協としては、最終的には「公益財団法人」を目指していますが、そのステップとして今回一般社団法人への移行を提案したことの説明も行われました。

その後採決に入り、満場一致で「一般社団法人東京陸上競技協会」に移行する事が決定しました。今後、3月22日に東京都から移行認可を受け、登記等の諸手続きを行い、4月1日から一般社団法人東京陸上競技協会としての事業を開始していきます。

平成23年度 第2回通常總會報告

日時 平成24年2月28日(火) 18:00～
場所 立正大学 大崎キャンパス
出席 251名(出席者91名 表決書提出者160名)
欠席 140名
議長 佐藤三千雄(練馬アスレチッククラブ)
井上 克巳(立川市陸協)
議事 日程第1 第7号議案 「渋谷ジュニアランニングクラブ」新規加入申請の承認
日程第2 第8号議案 平成23年度補正予算の承認
日程第3 第9号議案 平成24年度事業計画(案)の承認
日程第4 第10号議案 平成24年度一般会計予算(案)の承認



平成23年度第2回通常總會は、鈴木副会長のあいさつに続いて定数確認・議長選出を行い、審議に入りました。案件は4項目からなり新規加入クラブの承認と代表者の挨拶、続いて一般社団法人化に向けた事業積立預金の整理などの説明を行い承認を得ました。24年度の事業計画は、4月1日に移行する一般社団法人としての機構改革、25年国体・日本選手権の事前準備年を強調した計画であること、24年度予算は、新組織による新しい基準の編成になり、事業区分や勘定科目の整理統合、社会環境を加味した事業収入の策定、東京陸協の将来を見据えた支出計画の説明がありました。

質疑応答では、「公益財団法人化への今後の推移や進捗状況」「味の素スタジアムの使用基準」「審判員の委嘱」などが上がり、それぞれ担当理事から回答がありました。

事務局の下田氏からは、24年度登録申請について説明があり、最後に馬場副会長の閉会挨拶をもって總會を終了しました。

平成24年度 主要競技会日程

	期 日	競 技 会 名	競 技 場・競 走 路
国際大会・日本陸連主催	6月8日(金)～10日(日)	第96回日本陸上競技選手権大会	長居(大阪)
	7月29日(日) ～8月2日(木)	第65回全国高校陸上競技対校選手権大会	ビッグスワン(新潟)
	8月3日(金)～12日(日)	第30回オリンピック	ロンドン(イギリス)
	8月19日(日)～22日(水)	第39回全国中学校陸上競技選手権大会	県総合(千葉)
	8月24日(金)・25日(土)	第28回全国小学生陸上競技交流大会	日産スタジアム(神奈川)
	10月5日(金)～9日(火)	第67回国民体育大会	長良川(岐阜)
	1月13日(日)	皇后盃第31回都道府県対抗女子駅伝	京都市(京都)
	1月20日(日)	天皇盃第18回都道府県対抗男子駅伝	広島市(広島)
	2月24日(日)	東京マラソン	東京
実業団・学連・マスターズ主催	5月12(土)・13(日)・ 19(土)・20(日)	第91回関東学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場(東京)
	9月9日(日)～12日(水)	天皇賜盃 第81回日本学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場(東京)
	9月21日(金)～23日(日)	第60回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	博多の森(福岡)
	9月21日(金)～23日(日)	第33回全日本マスターズ陸上競技大会	岡山県(岡山)
	10月28日(日)	第30回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
	11月4日(日)	秩父宮賜杯 第44回全日本大学駅伝対校選手権大会	熱田市(愛知)～伊勢市(三重)
	12月16日(日)	第32回全日本実業団女子対抗駅伝競走大会	松島町～仙台市(宮城)
	1月1日(火・祝)	第57回全日本実業団対抗駅伝競走大会	前橋市(群馬)
	1月2日(水)・3日(木)	第89回東京箱根間往復大学駅伝競走	東京・神奈川
東京陸上競技協会主催	4月21日(土)・22日(日)	第75回東京陸上競技選手権大会兼国体代表選手選考会兼日本グランプリシリーズ(混成競技)	味の素スタジアム
	6月2日(土)・3日(日)	第28回東京リレーカーニバル	江東区夢の島競技場
	7月1日(日)	第28回 全国小学生陸上競技交流大会東京都予選会	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	7月16日(月・祝)	第3回東京ナイター陸上	国立霞ヶ丘競技場
	9月8日(土)・9日(日)	第24回東京ジュニア陸上競技大会兼第43回ジュニアオリンピック東京都代表選手選考会	江東区夢の島競技場
	10月28日(日)予定	第52回東京女子陸上競技大会	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	1月1日(火・祝)	第61回元旦競歩大会 兼第75回東京陸上競技選手権大会(競歩)	神宮外苑・絵画館20k競歩路コース

*11月11日(日) 第28回東日本女子駅伝競走 福島市(福島)

天皇盃第17回 全国都道府県対抗 男子駅伝競走大会 東京チーム 過去最高の準優勝



1月22日に広島で開催された天皇盃第17回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会において、東京は見事準優勝を果たしました。これまでの16回の大会で最も良い成績が9回大会の9位。他はすべて二桁となかなか実力を発揮できませんでした。今回の東京チームは社会人以外それほど目立った選手はいません。しかし、スタート地点で取材をしてみると各チームや報道陣までが「東京ダークホース」「東京は5位」の声が囁かれるほど注目を集めていました。中村監督はスタート前「今年は3年計画の2年目であり、選手には自分の走りをしてもらうだけです。選手を信じています」と話していました。



広島市の平和記念公園前発着の48^キ。7区間、気温13.5度とやや高めの中、定刻12時30分にスタートすると、1区の武田凜太郎選手（早実高）が4位と好発進。監督ルームの大画面でレース展開を追う水木団長と中村監督の顔には笑顔さえ見える余裕の表情です。テレビでは東京のナンバー「13」をつけて常に先頭集団で快走を続ける7人の姿が全国に映し出されていました。激しい2位争いを制し、先頭に遅れること僅か22秒でゴールラインを走り抜けたのは若松義裕選手（日清食品グループ）の勇姿でした。

役員・選手一覧

役職	氏名	所属
団長	水木 学	西東京市立田無第四中学校
監督	中村 孝生	エスピー食品
コーチ	小川 欽也	東京実業高等学校
コーチ	市村 光雄	新宿区立新宿西戸山中学校
総務	青柳 友博	拓殖大学第一高等学校
トレーナー	小沢 未菜	リニアート
選手 (1区)	武田凜太郎	早稲田実業高等学校
選手 (2区)	青山 拓朗	台東区立柏葉中学校
選手 (3区)	高橋 優太	エスピー食品
選手 (4区)	我那覇和真	東京実業高等学校
選手 (5区)	高月 智生	駒澤大学高等学校
選手 (6区)	島崎 裕貴	あさる野市立西中学校
選手 (7区)	若松 儀裕	日清食品グループ
選手	高宮 裕樹	(株)ヤクルト
選手	打越 雄充	国学院大学久我山高等学校
選手	見廣 雄一	拓殖大学第一高等学校
選手	岸 哲也	郁文館中学校
選手	菊池 聡之	岩倉高等学校
選手	斉藤 寛明	足立区立第九中学校



▲2012年(平成24年)1月23日 中國新聞

広島都人会の熱い応援

この大会は、広島在住の各都道府県出身者の県人会で「ふるさと応援団」を組織し、大会を盛り上げています。「ふるさとひろば」では郷土料理のコーナーが大賑わい。



広島東京都人会（安達勇会長）も毎年東京チームを温かく迎えてくださり、熱い声援を送っていただいています。今回は沿道に江戸紫の「のぼり旗」がたくさん立ち、選手にとっても大きなちからとなり、準優勝に繋がったのと感じました。

毎回、大会が終わるとねぎらいの会を開いてくださいますが、今回はすばらしい「祝勝会」となりました。

中村監督から応援のお礼と「次は優勝!」との力強いコメントに、都人会の皆様も来年に向けて期待が高まっていました。



寒い今年の冬ですが、心が温まる素敵な交流のひと時でした。

石原会長もお喜び

昨年夏のインターハイにおける「東京高校の優勝」に引き続き、今回の全国男子駅伝での東京チームの準優勝に石原会長も大変お喜びでした。

1月27日の東京陸協新年会では、水木学団長と中村孝生監督をねぎらい、共に喜びを分かち合いました。



来年に期待！ 皇后盃第30回全国女子駅伝

男子駅伝の1週間前に行われた女子駅伝は30回目を迎え、今年のロンドンオリンピックを目指す選手も出場するとあって注目のレースとなりました。



東京は「8位入賞」を目標にスタートを切りましたが、1区の混戦の中で転倒し、その後も大きく順位を上げられず、32位でゴールとなりました。

京都にも都人会が発足し、大会前日に池坊保子会長が選手滞在のホテルに来訪して激励してくださいました。

残念な結果に終わりましたが、選手は「来年こそは」と雪辱の意欲に燃えています。いよいよ来年は東京



国体の年。本大会からスタートする平成25年の東京陸協の起爆剤となることを期待しています。

第27回東日本女子駅伝

昨年11月13日に信夫ヶ丘競技場（福島）発着の9区間・42.195kmに18チームが参加して開催されました。東京チームは第6位でした。

東京陸協登録チーム 大活躍! 東京マスターズも 大活躍!

大会結果

第一生命、9年ぶり2回目の優勝

第31回全日本実業団女子駅伝は会場を昨年までの岐阜県から宮城県仙台市とその周辺に移し、平成23年12月18日に開催されました。

コースは宮城郡松島町の中央公民館前をスタートとする6区間42,195^キ。12時10分に号砲がなり、東日本大震災の被害を受けた沿岸地域を經由して仙台陸上競技場がゴール。

山下佐知子監督率いる「第一生命」が2時間17分17秒で見事優勝を果たしました。2区間で区間賞を獲得し、最優秀選手賞に第1区で区間賞を獲得した尾崎好美選手が選ばれました。



大会結果

日清食品グループ快走で2年ぶり2回目のV

新春の群馬路を巡る第56回全日本実業団駅伝(ニューイヤースタート)は、平成24年幕明けの1月1日、全国から予選を勝ち抜いた37チームが出場して群馬県庁前を9時10分にスタート。6区間100^キにしのぎを削りました。

東京からは日清食品グループをはじめとする6チームが出場。レースは混戦となりましたが、日清食品グループが3区間で区間賞を獲得。第5



区で先頭を奪還すると大会新記録となる4時間49分32秒で2年ぶり2回目の栄冠を手にしました。

また、1分20秒差で第2位となった「コニカミノルタ」も大会新記録の4時間50分52秒でゴール。

日清食品グループの第4区佐藤悠基選手、コニカミノルタの第3区宇賀地強選手は、それぞれ区間新記録をマークしました。

大会結果

全国マスターズ駅伝 東京女子2連覇達成

昭和62年に大阪・万博記念公園で第1回大会が開催され、今回で24回目を迎えた都道府県対抗マスターズ駅伝。開催もない頃は、男女混合レースで男子は35歳以上、女子は30歳以上の参加資格を設けて実施していました。

第16回以降、男子と女子を区別して競技を行うようになり、今年は国体が行われた山口県きらら博記念公園内での開催となりました。男子は6区間、女子は4区間で競技を行いました。

女子は、広瀬、檜山、田村、成田のオーダーで見事優勝。大会2連覇を達成しました。



先頭は東京チーム1区広瀬光子選手

駅伝いろいろ 東京チームの成績

▼第20回関東中学校駅伝(2011.12.4 神奈川県)

【男子】6区間19.95^{*} 33チーム

28位 目黒区立東山 30位 あきる野市立西 32位 江東区立深川第三 33位 巢鴨

【女子】5区間12.48^{*} 33チーム

27位 足立区立六月 28位 八王子市立甲の原 30位 目黒区立東山 31位 豊島区立千登勢橋

▼第19回全国中学校駅伝(2011.12.18 山口県)

【男子】6区間18^{*} 48チーム 46位 目黒区立東山

【女子】5区間12^{*} 48チーム 46位 足立区立六月

▼第64回関東高校男子駅伝(2011.11.19 神奈川県)7区間42.195^{*} 48チーム

10位 拓大一 11位 東京実業 19位 早稲田実業 25位 國學院久我山 32位 保善
38位 若葉総合

▼第20回関東高校女子駅伝(2011.11.19 神奈川県)5区間21.0975^{*} 48チーム

8位 順天 14位 八王子 25位 上水 28位 東京 36位 若葉総合 37位 駒澤大高

▼第62回全国高校男子駅伝(2011.12.25 京都府)7区間42.195^{*} 47チーム

30位 東京実業

▼第23回全国高校女子駅伝(2011.12.25 京都府)5区間21.0975^{*} 47チーム

28位 順天

▼第23回出雲全日本大学選抜駅伝(2011.10.10 島根県)6区間44.5^{*} 21チーム

1位 東洋 2位 駒澤 3位 早稲田 4位 東海 5位 拓殖 6位 日本体育 7位 明治
9位 中央 10位 青山学院 11位 國學院

▼第43回全日本大学駅伝(2011.11.6 愛知県・三重県)8区間106.8^{*} 27チーム

1位 駒澤 2位 東洋 3位 早稲田 4位 日本 5位 中央 6位 上武 7位 東海
8位 明治 9位 青山学院 10位 城西 11位 帝京 13位 日本体育

▼第29回全日本大学女子駅伝(2011.10.23 宮城県)6区間38.6^{*} 26チーム

5位 城西 8位 順天堂 9位 白鷗 11位 城西国際 13位 玉川 15位 中央

▼第52回東日本実業団対抗駅伝(2011.11.3 埼玉県)7区間77.5^{*} 22チーム

1位 日清食品グループ 2位 コニカミノルタ 3位 カネボウ 6位 ヤクルト
7位 JR東日本 12位 警視庁

▼第22回東日本実業団対抗女子駅伝(2011.11.3 埼玉県)6区間42.195^{*} 12チーム

1位 第一生命 6位 ホクレン 7位 三井住友海上 8位 資生堂

▼第56回全日本実業団対抗駅伝(2012.1.1 群馬県)7区間100.0^{*} 37チーム

1位 日清食品グループ 2位 コニカミノルタ 20位 カネボウ 22位 ヤクルト
25位 JR東日本 34位 警視庁

▼第31回全日本実業団対抗女子駅伝(2011.12.18 宮城県)6区間42.195^{*} 33チーム

1位 第一生命 11位 三井住友海上 20位 ホクレン 22位 資生堂

▼第27回東日本女子駅伝(2011.11.13 福島県)9区間42.195^{*} 18チーム

6位 東京都

▼第24回都道府県対抗全日本マスターズ駅伝(2011.12.18 山口県)

【男子】6区間33.6^{*} 23チーム 13位 東京都

【女子】4区間16.6^{*} 11チーム 1位 東京都

▼皇后盃第30回都道府県対抗女子駅伝(2012.1.15 京都府)9区間42.195^{*} 47チーム

32位 東京都

▼天皇盃第17回都道府県対抗男子駅伝(2012.1.22 広島県)7区間48.0^{*} 47チーム

2位 東京都

東京がひとつになる日 東京マラソン2012 2012.2.26 大会を振り返って

事務局 井上克巳

東京の風物詩、一大行事となった「東京マラソン」も回を重ねて今年で6回目を迎え、無事終了することができました。大会を成功させるため、前大会を検証しながら改善策を整理しつつ、東京マラソン東陸委員会は東京マラソン財団と検討会を重ねてまいりました。

大会当日に至るまでの間、審判員各位及び関係各位のご理解とご協力を賜りましたことを深く感謝いたします。



今大会は、オリンピックの代表選考を兼ねていたこともあり、話題の選手に沿道からひととき大きな声援があがっていました。2位(日本人1位)になった「藤原新」選手がオリンピックの代表に選ばれたことは大変喜ばしく思います。大会を成功させるため多くの審判員、学生、ボランティアが連携し、それぞれの任務に取り組んだことが好記録につながったのだと思います。

今後は、審判員の意見や問題点を抽出し、次回への課題付与としていきたいと考えています。



東京マラソン各ブロック長の一言

▼スタート: 染谷 実



偽造ナンバーカード対策を重視。スタート前に確認したが、文字が小さく苦勞した。その他、問題点もなくスタートができた。

▼新宿・飯田橋: 松下 捷三



5^{キロ}付近で足の痛みを訴え、途中棄権者が発生した。また、警察の指示には、現地審判員が速やかな対応で行動してくれた。

▼大手町・日比谷: 折茂 晃



マニュアルと警察の指示に相違があったが、審判員とボランティアの協力で対処した。大島町から審判員が初参加した。

▼芝: 古澤 幸男



人身に係わる事態が発生したが、救急援護の充実により事なきを得た。

▼品川: 峰尾 公次



看板設置位置に課題を生じたが、便宜措置をとり次回へ提言する予定。ボランティアとの連携は良かった。

▼銀座・日本橋: 矢作 和昭



沿道の声援も多くなる場所なので、事故やクレームがないようコースの再点検・審判員の動静に気を配った。

▼人形町・水天宫: 長谷川 博



撮影ゾーン設置に遅延を生じたが、隣接する審判員とボランティアの協力で撮影には影響はなかった。

▼蔵前・浅草: 石井 公一



トイレの設置場所・戸数で不足を感じた。報道カメラマンの所在を明確にするため、ビブス着用を提案。

▼築地・佃: 宝田 功



レース前に沿道整理で見学者と軽易なトラブルがあったが、審判員の柔軟な措置により事なきを得た。

▼豊洲・有明: 大泉 雅靖



全体会議がなかったことによる課題が多かったが、経験上での連携を保てたので問題はなかった。

▼10^{キロ}フニッシュ: 村田 延雄



参加制限が昨年と変更になったが、作業内容に変更はないと認識し、学生補助員のできばきた援護で問題点はなかった。

▼マラソンフニッシュ: 梶原 克之



報道取材などのトラブルを懸念したが、整理・誘導とも適切かつ的確な行動でエリート・一般・見学者ともに問題点はなかった。

大会結果

(東陸主催) 第51回東京女子陸上競技大会 (東京レディース陸上2011)

TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION

平成23年11月6日 駒沢公園陸上競技場

厚い雲に覆われた晩秋の空。時折、小雨降る駒沢公園陸上競技場に都内および近郊から1,300余名の選手が参加して行われました。この大会は女子委員会がめざす「女性審判員の資質の向上、競技運営面での力量の発揮」(山崎壽美子委員長談)を掲げ、実施されましたが、参加人員の増加とあわせてタイムスケジュールの過密化などから本来の目標に至らなかった気もします。



また、この大会では、審判員全員が胸にピンクリボンを着け、「ピンクリボン運動」への支援を展開しました。大会当日、ピンクリボン運動へのアドバイザーとして久保田 満 (ニシスポーツ) さん

も駆けつけていただきました。学生時代には7種競技で活躍、自身乳がんを克服し、現在「がん患者生活コーディネーター」を務めているそうです。

一般・高校走幅跳には、ロンドンパラリンピックの出場を目指す「佐藤真実 (サントリー)」さんの姿も見られました。3月の最終選考会で決まります。この日は、これまでの調整ということで、一般の選手に混じり4m17の記録でしたが、「広州大会の記録よりよかった」と満足そうでした。



大会結果

(東陸主催) 新春恒例元旦競歩 60回を迎える

TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION

第60回元旦競歩 (兼第74回東京選手権競歩) は、新春の神宮外苑絵画館コースに5部門に分かれ競技が行われました。1953年に競歩の愛好家によって始められた「歩き始め大会」も今年還暦を迎えました。1981年 (第29回) には、女子5^{キロ}が日本で最初の公認レースとなった大会でもあります。

参加標準記録がないことから、この日も高校生から一般まで多くの参加者が1周1.325^{キロ}のコースに汗を流しました。また、競歩界の重鎮・津田直彦氏の競歩に対する思いを継承し、各部門の優勝者に「津田直彦賞」が贈呈されました。



種目別優勝者・記録

	種目	氏名	所属	登録	記録	備考
男子	大学一般20km	西塔 拓己	東洋大	広 島	1時間24分33秒	
	高校10km	松永 大介	横浜高	神奈川	42分32秒	
	50歳以上5km	佐々木 茂	三本木高教	青 森	25分09秒	
	東京選手権10km	明石 顕	東大クラブ	東 京	1時間24分56秒	
女子	大学一般10km	大利 久美	富士通	千 葉	44分43秒	NGR
	高校5km	山口 茜	佐原高	千 葉	23分47秒	
	東京選手10km権	道口 愛	モティイダ AC	東 京	46分02秒	

*女子50歳以上5kmは出場者なし

大会結果

快晴の青梅路に17,500人が健脚を競う



第46回青梅マラソンは快晴の2月19日 (日) に開催され、10^{キロ}の部が9時30分に、30^{キロ}の部が11時30分にそれぞれスタートしました。30^{キロ}の部のスターターは、ロンドン五輪レスリング代表に決定している吉田沙保里さんが行いました。

30^{キロ}の優勝は地元JR東日本八王子支社に勤務する社会人1年生の田村英晃選手、1時間33分26秒でした。ボストンマラソンの招待を受け、初マラソン挑戦です。また高校男子10^{キロ}は、全国高校駅伝や広島男子駅伝で活躍した我那覇和真選手 (東京実業高校) が30分50秒で栄冠を手に入れました。

Topics

▼地域で活躍する陸上競技関係団体・個人 東京都スポーツ功労で表彰 (10月3日)

「平成23年度東京都功労者表彰式」において、「スポーツ振興功労」に、団体が大田区陸上競技協会、個人で梶原克之氏（江東区陸協）が表彰を受けました。



また、東京都のスポーツ・レクリエーションの普及・発展に貢献した個人や団体に贈られる「スポーツ功労賞」は美濃又壽夫氏（江東区陸協）と、望月 晃氏（江東区陸協）の2名が受賞いたしました。おめでとうございます。

▼北東北総体男子優勝校監督 ふるさとで陸上指導 (1月14日・15日)

東京高校の大村邦宏監督は被災地である郷里の岩手県宮古市で陸上競技の指導を行いました。宮古高校など4校から男女約70名の参加があり、寒冷地でのウォーミングアップや補強運動の後、種目別指導を行いました。指導経験・専門知識が豊富なうえ、人間味あふれる熱血指導は地元の高校生に多くの示唆を与えることとなりました。大村先生も「故郷への恩返しができて、こんなにうれしいことはない」と満足な様子でした。



▼東陸アナウンサーが勉強会 (12月3日)

国体・日本選手権を控え、競技会運営の変化に対応したアナウンスについて勉強会を行いました。

国際大会などで指導的立場にある東京陸協の中島剛氏・黒澤達郎氏を中心とし、質疑応答を交えながらの話から大きな示唆を受け、意識変革をしなければいけないとの思いを強くした様子で

した。中野審判部長も出席し、すべての部署がお互いに密接な連携を取ることを大切さを強調していました。



出発・周回・投擲などの審判部署でも独自で研修を行っており、「さすが東京陸協」との評価がいただけるよう東陸全体でレベルアップを図っていきたいと思います。

▼開通前に歩いて、走って、自転車で! (2月4日・5日)

開通前の東京ゲートブリッジで完成記念スポーツフェスタが行われ、東京陸協審判員も運営に協力しました。天気が良ければ東京スカイツリーと東京タワーを同時に、更には富士山も望めるとあって、2日間で15,000人が集まりました。足を止めて記念写真を撮る参加者も多く、自動車専用道路のため最初で最後になるかも知れない8^{km}の道のりを堪能していました。



を止めて記念写真を撮る参加者も多く、自動車専用道路のため最初で最後になるかも知れない8^{km}の道のりを堪能していました。

▼箱根駅伝 もう一つの難所、蒲田第一踏切が廃止に

駅伝ランナーにとって、踏切で足止めされるほどつらいことはありません。

国道15号線の京浜急行蒲田第一踏切は箱根駅伝ランナーの数々のドラマを綴ってきました。



現在、線路の高架化工事が進み、巨大なコンクリートの柱はレールの上に覆いかぶさるように組

み立てられ、いよいよ踏切道が廃止となります。
 レールは当分残るようですが、88回大会をもって踏切警報機の音を聞くことはなくなります。

▼今年度4回目となる「小学生陸上教室」開催 (3月10日)

小学生が陸上競技に親しみ、体力向上・栄養管理などの知識を学ぶことを目的に板橋区高島第一中学校で講習会が開催されました。生憎の雨模様でしたが、体育館には100名もの小学生が参加して世界やアジアで活躍する現役選手・高校の監督・コーチなどから指導を受けました。

国体メイン会場の調布市からも視察に訪れ、熱心に見学されていました。



また、指導者・保護者を対象にした「子供の健康・理想の身体・食物のとり方」について栄養管理士・大村麻美さんの講義もありました。最後に貫井普及部長から「来年もぜひ参加してください。」と呼びかけがあり、終了しました。

▼第2回足立フレンドリーマラソン大会 (12月23日・足立区陸協主催)

「荒川の風によって仲間と一緒に走り納め」。

小学生から84歳までの6,800名のランナーが参加して荒川千住新橋の「虹の広場」を中心に開催されました。地元出身の浅井えり子さんも出場。朝から冷たい北西の風が吹きまくる一日でしたが、レース後近隣の銭湯に優先入浴できる特典もありました。会場内では東日本大震災復興支援の物販も行なわれていました。



▼第3回東京・赤羽ハーフマラソン大会 (2月12日・北区陸協主催)

新荒川大橋下に集まったランナーは9,000名。箱根駅伝で活躍した日本体育大学のランナーを



招待し、和気あいあいと21.0975*₀に汗を流しました。今年はコース沿いの梅の開花も遅れているようでしたが、色とりどりのランナーのコスチュームが一足早い春を感じさせてくれました。

Topics

平成23年度日本陸連主催全国会議一覧

会議名	期日・場所	東陸代表	議題・内容
全国医務部長会議	平成23年5月29日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター	三橋敏武	各都道府県陸協医務担当部署の活動報告
全国強化責任者会議	平成23年11月28日 味の素NTCアスリートビレッジ	水木 学 下山良成	ロンドンオリンピック強化方針 2012主要競技会日程と取り組みについて ジュニア強化育成事業・国際大会選考基準 日本陸連強化競技者指定の方向について 講演「ロンドンオリンピックに向けたマルチサポート事業の紹介」
全国女性委員会議	平成24年2月11日(土) 岸記念体育会館	本橋郁子	講演「組織のリーダーから見た女性の活躍」 発表「陸上競技指導者として歩んできた道」 全体意見交換・地域意見交換
全国区域技術役員会議	平成24年2月11日(土)・12日(日) 味の素ナショナルトレーニングセンター	山口賢司	競技場・競走路の検定時留意事項講義・検定実技 用器具検定要領・取扱要領 技術役員としての心構え
全国競技運営責任者会議	平成24年2月11日(土)・12日(日) 東京シティーエアターミナル	中野人志 古澤幸男 大野 弘	2012年度競技規則修改正 競技運営上の諸問題
全国普及育成担当者会議	平成24年2月12日(日) 国立スポーツ科学センター	山口高史	指導者資格の改定 小学生の登録について



三橋ドクターのものしり教室



第1回 《ドーピングについて》

【はじめに】

つい最近、東京マラソンでのドーピング違反が報道され話題になりました。意図的にせよ、うっかりにせよ、陸上競技に関わる私たちにとってドーピングは重要な問題です。今回から何回かに分けてドーピングについてお話いたします。まず初回は総論的なことから始めましょう。

【ドーピングとは】

1. 競技力向上を目的に薬物を不正使用すること
2. それらを隠蔽する薬物や方法を用いること

【アンチ・ドーピング機構】

世界的規模のドーピング防止活動を行う組織を、世界アンチ・ドーピング機構（World Anti-Doping Agency：WADA）といい、通称「ワダ」と呼ばれています。日本国内でドーピング防止活動を行う組織は、日本アンチ・ドーピング機構（Japan Anti-Doping Agency：JADA）で、通称「ジャダ」と呼ばれています。

【ドーピングはなぜいけないのか】

1. スポーツ精神違反

スポーツは、持っている能力を最大限に用いて、他の競技者と同じ条件で競技し、規則に基づいて勝敗を決めるものです。ドーピングはこのスポーツ精神に反してしまいます。

2. 健康被害

薬物は、本来病気の治療のために使用されるものです。その治療目的からはずれて、競技力向上のために悪用するのがドーピングです。薬物は適正量の使用でも副作用を考慮しなければならず、ましてや適正量を超えて使用した場合は健康を害する危険があり、場合によっては死にいたることもあり得ます。

3. 社会的悪影響

トップ選手のドーピング行為は、ジュニア選手

や子供たちに悪影響を与えてしまいます。スポーツ社会におけるドーピングは、一般社会における薬物汚染と同じです。

【禁止物質、禁止方法】

WADAが、禁止物質と禁止方法を年に最低1回見直し、毎年、禁止表を設けています。同じ物質でも、競技会および競技会外の双方において常時禁止されるもの、競技会に限って禁止されるもの、特定競技において禁止されるものがあります。WADAの禁止表にある禁止物質・禁止方法は最終的なもので、競技者は異議を唱えることができません。

【うっかりドーピング】

薬局で買える市販薬、健康食品や栄養補助食品（サプリメント）の中には、禁止物質を含むものがあります。海外では、サプリメントの14.8%にラベルに記載のない蛋白同化ステロイド薬が含まれていたというデータがあります。

また、医師から処方された治療薬にも禁止物質が含まれている場合があります。たとえば、「総合感冒薬」や「漢方薬」には興奮薬に分類されるエフェドリンが含まれるものがあり要注意です。薬を飲む際は、禁止物質について知識のある医師、薬剤師に相談してください。

三橋敏武ドクター略歴

出身 東京 51歳 埼玉医科大学医学部卒業
専門分野 消化器外科学・健康管理学
勤務先 南古谷病院（埼玉県川越市）
資格 医学博士／日本外科学会専門医・指導医
 ／日本消化器内視鏡学会専門医・指導医／日本体育協会公認スポーツドクター／ドーピング・コントロール・オフィサー／日本医師会認定 健康スポーツ医／日本陸上競技連盟公認審判員／東京陸上競技協会医事委員長
著書 新版スポーツ整形外科学
 （2011年 南江堂 共著）

平成23年度 賛助会員

10月18日以降

小島壽一郎（府中市陸協）

株式会社マルチプレス

23年度のお申し込みは169件でした。

ありがとうございました。

編集後記

厳しい寒さが長く続いた今年の冬も終わり、春の到来です。桜の花を添えて会報98号をお届けいたします◆ロンドンオリンピックの年を迎えました。マラソン代表が決まり、いよいよトラックシーズン開幕です。味の素スタジアムでの東京選手権に注目です◆4月2日、東京陸協ホームページがリニューアルしました。開いてみてください。今後更に充実させて参ります◆会員の皆様からのご意見・情報をお待ちしています。



おめでとう 東京高校! インターハイ 今年も女子総合優勝!

7月29日～8月2日 ビッグスワン (新潟)



新しい東京陸協を目指して

会長 石原 伸晃

会員の皆様には日頃より多大なご協力いただきましてありがとうございます。

2020年東京オリンピック開催の期待が高まります。そのような時、東京陸協は時代の変化に対応した2つの大きな課題に取り組んでおります。

一つ目は、平成25年に東京で開催いたします全国大会（第97回日本選手権、第68回国体・第13回全国障害者スポーツ大会）の準備です。今年も東京国体の主会場である味の素スタジアムでの東京選手権をリハーサル大会と位置づけて実施いたしました。岐阜国体では資格審査や競技運営の勉強をさせていただく予定になっています。選手強化におきましても、昨年度の各大会の好結果に現れていますように順調に進んでおり、残る1年を大切に活かして、来年度大きな花を咲かせることを目指しています。

二つ目は、すでに会員のご承認をいただいております公益財団法人の設立です。平成24年4月から一般社団法人東京陸上競技協会としてスタートすることができました。しかし、このことは通過点であり、本年度は公益財団法人へ向けて様々な準備に取り組んでまいります。70年以上の歴史と伝統ある東京陸協は、公益財団法人になりまして陸上競技の発展に更に寄与していきたいと考えております。



独り言

副会長（東京国体・日本選手権担当）

鈴木 存

あと1年。課題は盛りだくさん。でも、ここまできたら「ヤルシカナイ」というのが本音です。

東京といえばやはり全国の注目の的であり、マンネリ化している国体の状況を打破するためには東京が見本を示す気持が必要です。今まで東京陸協が蓄えてきたエネルギーをぶつけ、新しいものとして東京らしい「スマート」さを出したいと考えています。

「やってよかった」という大会を、皆さんの力を結集して成功させましょう。



東京の選手に大いなる期待

副会長（強化・渉外担当）

馬場 孝

一昨年、「東京国体では選手全員が表彰台に!」「東京の総合優勝を!」とコメントしましたが、“時は

待たず”の言葉が現実味を帯びてきた感があります。

指導者の熱心な取り組み、選手の努力の結果、東京登録選手の活躍は目覚ましいものがあります。

東京選手のナンバーカードは「13」です。都民の皆さんにもPRして東京の選手を応援していただき、皆さんと喜びを分かち合えることを楽しみにしています。



日本マスタース本部、東京へ

副会長（マスタース担当）

井口輝男

和歌山県で産声をあげ、その後32年間に亘り日本のマスタース陸上を統括してきた社団法人日本マスタース陸上競技連合の本部が、本年4月1日付けで和歌山から東京（江東区）へ移転しました。今後ともよろしくお願いいたします。

会長 鴻池清司

副会長 織田和雄 井口輝男 生田秀正

大串啓二

専務理事 山田展也

平成24年度 第1回通常総会

日時 平成24年 6月30日(土) 14:00～
 場所 立正大学 大崎キャンパス
 代議員数 392名
 出席 240名(出席者78名、表決書提出者162名)
 欠席 152名
 議長 佐藤三千雄(練馬アスレチッククラブ)
 井上 克己(立川市陸協)
 議事 第1号議案 平成23年度事業報告の承認
 第2号議案 平成23年度決算報告の承認、及び監事報告
 第3号議案 平成24年度補正予算の承認



▲平成24年度第1回通常総会

一般社団法人に移行して初めての総会が開催されました。開会に先立ち、石原伸晃会長のご挨拶を岩崎純秘書に代読いただき、続いて、新規加入18団体の紹介と代表者の挨拶、多額の賛助会費を納めてくださいました2団体と1個人に感謝状の贈呈を行いました。

質問する青地清助氏
(江東陸協)▶



議事に入り、第1号議案の説明に対し、公益財団法人化、小中高生の登録問題についての質問があり、それぞれ担当から答弁がありました。第2号議案の説明に対し、東日本大震災の義援品(レインコート)取り扱い方法の質問と答弁がありました。第3号議案は、公益財団法人化の流れの中で一般財団法人の設立時に必要となる拠出金、立ち上げ時に必要な経費の説明がありました。提出された第1号から第3号までの議案はすべて賛成多数で可決されました。

平成24年度 第1回理事会報告

日時 平成24年 5月29日(火) 18:30～
 場所 東京陸協 6F会議室
 出席 理事21名(出席者19名、表決書提出者2名)、連絡理事2名

議事
 審議事項

- 第1号議案 平成23年度事業報告の承認
- 第2号議案 平成23年度決算報告の承認及び監事報告
- 第3号議案 平成24年度補正予算の承認

協議事項

- (1)平成23年度社団法人東京陸上競技会新規加入団体(9団体)の承認について
- (2)平成24年第1回定時総会について
期日・会場・議案
- (3)一般財団法人東京陸上競技財団設立について

連絡・報告事項

平成24年度 第2回理事会報告

日時 平成24年 6月30日(土) 12:30～
 場所 立正大学 大崎キャンパス
 出席 理事21名(出席者19名、表決書提出者2名)、連絡理事2名

議事
 審議事項

- 第4号議案 公益財団法人東京陸上競技協会設立に向けたスケジュール・設立資金・役員選出等

協議事項 (1)平成24年度新規加入団体(1団体)の承認について

連絡・報告事項



◀平成24年度 第1回理事会

平成24年度 事業計画

専門部 () 内は部長名

1 財務会計部 (野澤恒雄)

- (1)財産管理
- (2)会計管理
- (3)平成23年度決算・平成24年度予算の作成

2 総務部 (有澤政雄)

- (1)公益財団設立に向けての準備
- (2)什器備品管理システムの構築
- (3)定時総会・理事会の開催準備
- (4)審判用品等物品の管理・販売
- (5)文書発送業務等の請負
- (6)救急救命講習会実施
- (7)登録受付業務

3 広報部 (小松邦江)

- (1)HPの充実・積極的活用
- (2)広報紙(飛翔)の発行
- (3)マスコミ等への情報提供
- (4)東陸創立80周年(平成28年)に向けた資料整理

4 競技部 (大野 弘)

- (1)東京陸協主催・共催競技会の企画・運営

5 審判部 (中野人志)

- (1)競技会審判員編成
- (2)審判講習会の実施
- (3)審判部署別研修会の実施
- (4)日本陸連等主催研修会の受講

6 記録情報部 (川島康男)

- (1)東京陸協公認競技会記録申請
- (2)主催・共催競技会等の結果のHP掲載
- (3)東京陸協所有パソコンの管理
- (4)記録情報に関する研修会の開催
- (5)国体に向けた記録情報審判員の育成

7 普及部 (貫井勝之)

- (1)体験教室・競技会
- (2)強化練習会・選抜合宿
- (3)IAAFレベルI講習会

8 強化部 (水木 学)

- (1)強化合宿・駅伝プロジェクト練習会
- (2)拠点練習会
- (3)ドーピング講習会・医科学サポート
- (4)各大会東京代表選手選考

9 競技場管理部 (平塚和則)

- (1)東京陸協管轄下陸上競技場・長距離競走路の

現状把握・環境整備

- (2)味の素スタジアム・西競技場の使用方法の考察
- (3)用器具の適正使用法の指導
- (4)大規模マラソン大会設備上の安全対策

10 国体強化部 (大村邦英)

P7「東京国体まであと1年 強化最前線」に掲載

特別委員会 () 内は委員長・室長名

1 女子委員会 (山崎壽美子)

- (1)第52回東京女子陸上競技大会の開催
- (2)女性登録者の確保・普及
- (3)女性役員・女性審判員の技術・能力の向上
- (4)女性指導者の調査
- (5)女子委員会ネットワークの充実(関東地区との交流)

2 選挙管理委員会 (中尾敬治)

- (1)平成25・26年度役員選挙の管理
(12月告示、1月立候補受付、2月選挙)

3 栄章審査委員会 (佐藤三千雄)

- (1)栄章授与式の形式の検討
- (2)栄章候補者選考資料の内容と活用の適正化

4 定款諸規定委員会 (有澤政雄)

- (1)理事会からの要請業務

5 新公益法人移行準備委員会 (有澤政雄)

- (1)公益財団法人東京陸上競技協会設立準備

6 東京国体・日本選手権準備室 (鈴木 存)

P6「東京国体まであと1年」に掲載

7 東陸東京マラソン委員会 (田中利雄)

- (1)競技運営・審判編成検討

8 競技運営委員会 (川島康男)

- (1)東京陸協主催・主管競技会のスムーズな運営
に向けた関係組織の連携

9 医事委員会 (三橋敏武)

- (1)日本陸連医事委員会との連携
- (2)東京マラソン財団医事部会との連携
- (3)総務部と連携し、救急救命講習会の開催
- (4)医療関係の機材・薬品の管理

10 マーケティング戦略室 (田中利雄)

- (1)東京陸協の将来像を見据えた戦略の構築
- (2)東京国体以降の主催大会再考
- (3)国際大会・大規模競技会の開催に向けた方向性の議論

東京陸協主催競技会報告

第75回東京選手権大会 (4月21・22日 味の素スタジアム)

TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION



▶▶ 競技場開きセレモニー
補助競技場



▲栄章伝達式
▼右代選手に記念品

今年の大会は来年の日本選手権・国民体育大会リハーサル大会として開催されました。男子やり投・女子4×100mリレーで大会新記録が誕生しました。今回は陸連主催の日本グランプリシリーズ混成競技も同時に行われ、昨年わが国初の8000点を越える日本新記録(8073点)をマークした右代啓祐選手(スズキ浜松AC)に期待がかかりました。再び8000点は越えましたが、天候の悪化もあり記録更新はなりませんでした。



味の素スタジアムはこれまではサッカーやコンサートが行われていましたが、IAAFクラス2・陸連第1種公認陸上競技場化工事と第3種公認補助競技場新設工事を行い、「こけら落とし」のセレモニーでは東京都スポーツ振興局長、調布市長から祝辞が述べられました。

新しい競技場・最新の用器具を使用しての日本選手権・国体リハーサル大会と位置づけた競技運営は、競技役員に様々な苦勞はありましたが無事終了しました。しかし、各部署とも課題も多く見つけ、来年に向けて改善に取り組むこととなりました。



③



①

- ① 音声通話システムで連絡をとる競技者係
- ② 無線端末機を使って確認する出発係
- ③ 競技者受付係(TIC)も試みた
- ④ 万全の競技進行とアナウンサー
- ⑤ パソコンを駆使する記録情報係
- ⑥ 集約された用器具庫



②



④



⑤



⑥

TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION
第28回東京リレーカーニバル (6月2・3日 江東区夢の島競技場)

雨天の予報でしたが両日も晴天に恵まれ、良いコンディションのもとに競技は展開されました。1日目は小学生と高校生、2日目は中学生中心のタイムテーブルが生まれ、選手もトラックにフィールドにのびのびと競技に挑戦していました。

2日目に行われた中学共通女子100mH (76.2-8.0) で中学校日本新記録が誕生しました。(詳細8ページ)



▶ 中学共通女子100mH表彰
 ◀ 中学共通男子3000m



TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION
第28回全国小学生交流大会東京都代表選考会 (7月1日 駒沢公園競技場)

あいにく小雨まじりのコンディションでしたが、全国大会へ向けた熱き戦いが繰り広げられました。8月24・25日の2日間、横浜の日産スタジアムで開催される本大会に5、6年生を中心に男女各7種目に22名の選

手を派遣します。

8月2日に府中市陸上競技場で選手団結団式が開催され、広沢優美(府中AC)さんが「オリンピック選手に負けないよう頑張ります」と決意を述べました。

▶ 女子4×100mRで入賞を喜ぶ選手達



▲全国大会東京都代表選手団

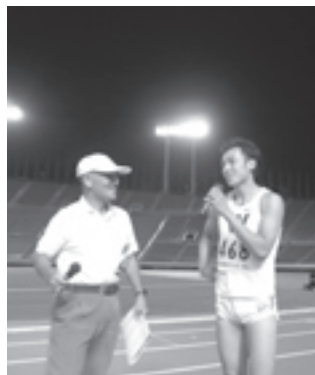
TOKYO ATHLETICS ASSOCIATION
第3回東京ナイター陸上 (7月16日 国立競技場)

「中学生・高校生に国立競技場で走る機会を…」 「わが国のトップ選手が繰り広げる戦いを肌で感じてもらいたい」という東京陸協の想いを実現した本大会も今回で3回目。今年の岐阜国体東

手権等で活躍し、ロンドンオリンピック代表を争った選手たちも出場し、見ごたえのあるレースでしたが、風の影響もあり、記録的には今ひとつというところでした。

今回は、来年の東京国体・日本選手権の競技運営リハーサルを意図した大会でもありました。選手の荷物をフィニッシュまで運搬する係を設け、競技役員の指示で手伝いの高校生が奮闘していました。

▶ 優勝選手インタビュー



▲スタート前の荷物運搬係

東京国体まであと1年

国民体育大会は、我が国の戦争で壊滅したスポーツ環境を何とか立て直し、スポーツを広めることによって国民のちからになろうとの関係者の気概により、第1回大会が終戦直後の昭和21年11月に、戦災を免れた京都を中心に開催されました。初めての東京開催は昭和24年(1949年)第4回大会。このとき陸上競技男女総合成績は1点差で福岡に惜敗、準優勝でした。東京開催2回目は昭和34年(1959年)、このときは静岡、大阪に次ぐ第3位でした。

来年の東京開催は、第14回大会以来54年ぶり3回目となります。メイン競技の陸上競技を主管する東京陸協は、1年後に迫った第68大会に向けて競技運営・選手強化に協会挙げて取り組んでいます。加えて、わが国陸上競技会の最高峰・日本選手権も第97回大会は世界陸上競技選手権選手選考会を兼ねて来年東京で開催されます。

準備室は今…

東京陸協に「東京国体・日本選手権対策委員会」を開設したのが4年前の2009年4月。2011年4月に「東京国体・日本選手権準備室」となり、鈴木存室長を中心に準備が進められています。東京陸協事務局がある新宿・歌舞伎町「武井ビル」の階上に「東京国体・日本選手権準備室事務局」が今年4月27日に設置されました。

準備室スタッフ・役割は下記の通りです。

室長	鈴木 存				
室長代行	和中信男				
大会運営委員会	委員長 有澤政雄				
	委員 野澤恒雄	小松邦江	貫井勝之	中野 浩	田中右一
競技運営委員会	委員長 川島康男				
	委員 中野人志	潮田和男	鈴木一弘	大野 弘	山口賢司
	関根春幸	平塚和則			
強化推進委員会	委員長 大村邦英				
	委員 中村孝生	下山良成			



▲鈴木存室長(左)と和中室長代行(右)

準備にお忙しい鈴木存室長に質問いたしました。

1 審判編成上の問題点はありましたか

第2次意向調査を実施し、この回答を重視して検討を進めているが、学校関係職員の勤務上の取り扱いについて東京都の考えがはっきり示されていないため、決定が遅れている。10月までには最終決定をしたい。

2 審判員編成をする上で年齢はどのようにお考えですか

- *平成25年3月末時点で65歳以下を対象とする。
- *ジャッジを必要としない審判種別においては70歳までを対象とする。
- *総務、総務員、審判長等基幹役員については年齢制限を設けない。

3 審判員のユニフォームは決まりましたか

国体は他の競技との兼ね合いもあり、陸上競技だけで決定できるものではない。東京都と開催市町村との話し合いで「競技役員は黄色、補助員は緑色」と、彩色は決定した。デザインについてはこれからの検討課題となっている。

4 今後、競技運営リハーサルはどの大会で行いますか

第1回リハーサルが今年の東京選手権であったが、多くの問題点が見つかった。今後は7月の東京ナイ

ター陸上等、一般の競技会でも国体を見据えた審判にあたってもらうが、来年の東京選手権と日本選手権が仕上げとなる。

5 今年の岐阜国体視察はどのような計画ですか

東京陸協競技役員は経験豊富であり、一般の競技会運営で対応できる係については派遣はしない。東京の競技会では十分取り組みができない係や、一般の競技会とは異なる対応をしなければならない系の派遣を考えている。例えば練習場係は国体では大変重要な役職である。しかし、東京には補助競技場を備えた競技場はなく、十分な活動ができない。このような係は実際に国体会場での役員の動きを見てもらい東京での対応を考えてもらう。その他の係も、現地視察によって対応方の向上を図ってほしい。

6 今後、味の素スタジアムを使用する競技会はありますか。

東京陸協としては現在のところ、来年の日本選手権、国体、障害者スポーツ大会以外の使用予定はない。多くの競技会を開催したいが、施設使用料、人工芝の敷設問題、サッカー中心の使用日程等、多種多様な問題があり、使用できないのが現状である。

調布市役所に準備室

「味の素スタジアム」が位置する調布市は、平成22年4月から市庁舎内に「国体推進室」を開設し、室長・室長補佐・専門部・陸上競技係計14名の職員を配置して準備に当たっています。

東京陸協は平成24年4月から陸上競技係として石上敬久氏を派遣しています。東京陸協と東京都・日本陸連・調布市との連絡調整役として、また豊富な経験を活かして様々な助言を行い、市職員と一致協力しながら、大会が終わるまで忙しい日々が続きます。



▲国体推進室の石上敬久氏

強化最前線

国体強化部長 大村邦英

東京国体まであと1年、カウントダウンとなりました。3年前から立ち上がった国体強化体制も軌道に乗り、各部門で成果が現れ始めてきています。中学・高校が連携した練習会・沖縄合宿・海外遠征など、東京陸協の取り組みとしては画期的な事業を展開しています。

今年は岐阜で第67回国体が開催されます。東京国体を占う大会であり、東京の選手の活躍に大きな期待がかかっています。昨年のも活躍した男子短距離陣、今年の日選手権で入賞を果たした実業団選手、少年男子・少年女子も今年は全国的な活躍が期待できる選手が多く、夢が膨らむ布陣を組むことができそうです。選手団は8月13日に決定します。

本番での活躍にはスタッフ陣の今後の指導体制も重要なため、強化スタッフが一丸となって臨みます。

東京陸協強化スタッフ

前列右から

倉持昇一
遠藤道夫
橋口広忠
水木 学 (強化部長)
大村邦英 (国体強化部長)
中村孝生 (強化副部長)
下山良成 (強化副部長)



後列右から

児島大祐
福元康貴
小林隆雄
遠藤尚孝
呑口 健
正川澄夫

上記以外の強化スタッフ

笠井 淳 井部誠一 棟方拓也 千野達也 慶徳仁史 征矢範子

TOKYO ATHLETES

東日本実業団大会優秀選手に男子、女子のダブル受賞



▲山本一喜選手

第54回東日本実業団選手権大会は5月19、20日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催されました。男子やり投に出場した山本一喜（モンテローザ）選手は6投目に自己新の78m17を投げ、日本歴代9位の記録で逆転優勝し、男子の優秀選手に選ばれました。また、女子400mHで社会人1年目の田子 雅（J・VIC）選手がフィニッシュ前の接戦を制し、56秒92の大会新で優勝。女子の優秀選手に選ばれました。

▼田子 雅選手



KMG陸上クワの澤田イレーネさん、100mハードル中学校日本新

6月3日に行われた第28回東京リレーカーニバルの2日目、中学共通女子100mハードルに出場した澤田イレーネオギモンギ（KMC陸上クラブ：調布四3）さんは決勝で13秒56（+2.0）の中学校日本新記録を樹立しました。これまでの記録を0秒12更新です。「い



▲喜びの澤田イレーネオギモンギ選手

い感じで走れました。全中に向けて自信になりました。」と満足そうでした。

レースを観戦していた東京陸協・水木強化部長は「身体の動きがスムーズで、素晴らしい走りだった。」と称賛の言葉を述べていました。

東京からロンドンへ

日本陸上競技連盟は6月11日、ロンドンオリンピック日本代表選手を発表しました。東京陸協からは、中距離の横田真人（富士通）、長距離の佐藤悠基（日清食品G）、競歩の藤沢勇（ALSOK）の各選手が選ばれました。マラソンの藤原新（ミキハウス）、尾崎好美（第一生命）の両選手はすでに3月に決定しており、東京陸協からは5名の選手が出場します。活躍を期待いたします。



▲主将に花束贈呈

7月21日、都内ホテルで陸上競技選手団の結団式が行われました。冒頭、日本陸連の横川副会長から「完全燃焼してください。」と激励の言葉があり、主将に指名された「高平慎士・海老原有希」両選手から「日本中に元気が届けられるよう頑張ります。」と決意が述べられました。7月にスペインで行われた世界ジュニアで活躍したケンブリッジ飛鳥君、八木 望さんから花束の贈呈がありました。



2012ロンドンオリンピック陸上競技選手団

東京陸協登録選手の活躍

主要大会入賞選手

○第96回日本選手権(6月8~10日 大阪・長居) 1位~3位

(男子)	800m	優勝	横田 真人(富士通・東京)	1分48秒12
	1500m	3位	荒井 輔(J R東日本)	3分46秒03
	5000m	2位	竹澤 健介(エスビー食品)	3分47秒54
		3位	若松 儀裕(日清食品グループ)	13分47秒75
	10000m	優勝	佐藤 悠基(日清食品グループ)	28分18秒15
	110mH	優勝	八幡 賢司(モンテローザ)	13秒72 (-0.6)
	走高跳	3位	久保田 聡(モンテローザ)	2m15
	三段跳	3位	梶川 洋平(法政AC)	16m10 (+1.9)
	円盤投	3位	宮内 優(モンテローザ)	53m46
(女子)	800m	3位	須永 千尋(資生堂)	2分04秒86
	10000m	3位	絹川 愛(ミズノ)	32分20秒34
	砲丸投	3位	茂山 千尋(国士舘クラブ)	14m75
	円盤投	優勝	藪本 愛(国士舘クラブ)	52m74

○第28回日本ジュニア選手権混成(6月2・3日 長野市営)

(女子)	7種競技	優勝	伊藤 明子(田園調布学園2)	4890点
------	------	----	----------------	-------

○第54回東日本実業団選手権(5月19~20日 群馬・熊谷) 1位のみ

(男子)	10000m		松宮 隆之(コニカミノルタ)	28分53秒69
	110mH		八幡 賢司(モンテローザ)	13秒87 (-2.1)
	走幅跳		菅井 洋平(ミズノ)	7m97 (+3.0)
	やり投		山本 一喜(モンテローザ)	78m17
(女子)	800m		須永 千尋(資生堂)	2分07秒27
	1500m		満枝まどか(第一生命)	4分26秒16
	3000mSC		泉 知世(ホクレン)	10分35秒09
	400mH		田子 雅(JVIC)	56秒92 (大会新)

○高校総体南関東大会(6月15~18日 群馬・敷島) 1位のみ

(男子)	800m		三武 潤(城西3)	1分52秒29
	4×400m		東京高校(池田・清水・大串・田辺)	3分13秒12
	砲丸投		幸田 和記(東京3)	15m94
	8種競技		栗原 彰理(東大和3)	5555点
(女子)	200m		杉山 奈誇(八王子3)	23秒86 (+3.7)
	4×100m		東京高校(鈴木・中嶋・高森・武田)	46秒97
	4×400m		白梅学園(利藤・安西・志茂・香坂)	3分44秒50
	走幅跳		林 小百合(八王子2)	5m72 (+3.1)
	7種競技		伊藤 明子(田園調布学園2)	5025点

【東京都中学校新記録】

○女子	100mH	澤田レネ・杉本モナ(調布四3)	13秒58(0.0)	地域別多摩	6月17日
○男子	100m	大嶋 健太(中村3)	10秒78(+0.7)	都中学通信	7月22日
○男子	200m	大嶋 健太(中村3)	21秒86(+2.0)	都中学総体	7月7日
○男子	4種競技	大澤 聖也(川口3)	2684点	都中学総体	7月8日
○女子	4種競技	安東依里奈(府中三3)	2887点	都中学総体	7月8日

【東京都高等学校新記録】

○女子	100m	藤森 安奈(東京3)	11秒73(+1.7)	都高校総体	5月13日
○男子	1500m	打越 雄允(國學院久我山3)	3分46秒74	日本選手権	6月10日
○女子	7種競技	伊藤 明子(田園調布学園2)	5025点	南関東総体	6月17日
○女子	3000m	谷萩 史歩(八王子2)	9分19秒38	南関東総体	6月18日

【東京都高等学校最高記録】

○女子	ハンマー投	石嶋 真衣(東京3)	44m37	日大競技会	4月15日
-----	-------	------------	-------	-------	-------

Topics 競技会編

◎第62回千代田区陸上競技選手権大会

4月8日、江戸川陸上競技場で開催され、参加者は昨年倍にあたる666名がエントリーしました。競技場のまわりの満開になった桜が選手たちを応援しているようにも見えました。



春の陽ざしをいっぱい受け、真剣なまなざしで競技に挑んでいました。

◎第15回豊島区陸上競技大会

5月3・4日の2日間、夢の島陸上競技場で2,500名の参加で開催されました。2日間とも冷たい雨にみまわれる中、夢中で競技にのぞむ競技者と競技を終えた選手のユニフォームからは白く湯気が上がっていました。大会総務の岸氏は「この大会が自らのレベルアップにつながってくれば」とグラウンドを見つめながら思いを語ってくれました。



◎第40回三鷹市記録会

5月5日、五月晴れの武蔵野陸上競技場には色とりどりの鯉を想わせるようなユニフォームに包まれたアスリートがトラックに、フィールドに舞っていました。スタンドには、都議会議員、市議会議員の姿も見え、浅野会長から競技の説明を受けながら各競技者に拍手を送っていました。



◎第13回東京都身体障害者スポーツ大会(知的障害陸上競技大会)

5月26・27日の2日間にわたり、駒沢公園陸上競技場で開催されました。障害のある人々の社会参加の推進や、障害のある人への理解を深めてもらうことも目的の一つです。中学生や福祉事業所などから多くの参加者がボランティアに支えられながら、一生懸命競技していました。



◎第6回ジュニア陸上競技「チャレンジカップ」

将来のアスリートはここに。全国各地の小学生が、地域を越えて交流を深めながら競技力を向上させ、かつ陸上競技を楽しんでもらおうと、5月6日、大井ふ頭中央公園競技場には、北海道から大阪までの小学生1,040名が集まりました。年々参加選手の地域が拡大しており、選手数の増加とともに競技会の質も向上しています。



◎第47回府中市選手権・市内中学校対校陸上大会

風に揺らぐ木々が300名のトラックで舞う選手たちを応援しているようです。快晴の府中市民競技場で7月15日に開催されました。中学生の競技には府中市陸上競技の生みの親でもある野口栄治氏の功績を讃えた同氏杯が優勝校に授与されるなど盛大に行われました。



TOPICS

Topics その他

▼新B級審判員の実技研修

3月に実施された審判講習会（机上）を終え、現在、新B級資格取得者の実技研修が行われています。東京リレーカーニバルにも2日間で52名の研修生が出席し、各部署に分れ、先輩審判員の指導と助言にうなずきながら任務を習得していました。



▼夏季用審判帽・ハーフパンツ販売中



今年も暑くなりそうです。東京陸協では夏季用のメッシュ審判帽（6月～9月末）の販売を行っています。価格は、2,300円です。

また、ハーフパンツの販売（4,500円）も昨年引き続き行っています。

▼平成24年度関東学連幹事長



「今年度、幹事長として任務を担うことになりました日本大学の五十嵐博文（いがらしひろふみ）です。至らない部分も多々あるかと思いますが、東京陸協の皆さまのご指導を賜りながら、邁進してまいりますので、よろしくお願いいたします。」

▼東京都、杉並区大宮に運動場を建設中

トラックはオールウエザーで1周400m・6レーン、フィールドは天然芝を配した多目的運動場となります。完成は平成24年8月末。杉並陸協は、今後の活用について様々な構想を練っています。



▼「東京マラソン2013」募集要項決まる！

開催日は2013年2月24日（日）。募集人数は36,000人（マラソン35,500人 10km500人）。



応募者多数の場合は抽選です。受付はインターネットのみとなり、8月1日開始です。詳細については公式ホームページで確認してください。

▼中体連強化合同練習会（7月15日）

30度を越す暑さの中、全都から中学通信陸上出場権を獲得している450名が八王子上柚木競技場に集まり、ブロック別の強化練習が行われました。中体連強化部の指導と他校の選手との競



い合いで、参加者は多くの収穫があったことと思います。この取り組みは月1回開催されており、専門的な指導を受けられるとあって高校生も数名参加していました。中体連の地道な取り組みがわが国の陸上競技界を支えていると強く感じました。

Topics



三橋ドクターのものしり教室



第2回 《熱中症》

熱中症とは、「熱にあたることによって発生する症状」のことです。屋内、屋外を問わず暑熱環境下において生ずる健康障害（熱疲労、熱失神、熱けいれん、熱射病）の総称で、梅雨期から盛夏、秋口にかけて注意が必要です。

▼熱中症の症状

スポーツを行っていて大量の汗をかくと、顔、肩、胸などに赤い発疹が出る場合があります。これは、高温によるストレス障害のひとつで、水分、塩分が不足し、休憩が必要な合図、すなわち、熱中症の初期兆候と言えます。症状は次のように分けられます。

- [軽 症] 大量の発汗、筋肉痛、筋の硬直など
- [中等症] 頭痛、嘔吐、顔面の紅潮、集中力や判断力の低下など
- [重 症] 意識がもうろう、ふらふらする、会話に障害、高体温など

▼応急措置

- ・ 涼しい場所で休憩。(風通しのよい場所)

- ・ 衣服類に弛緩をもたせ、リラックスさせる。
- ・ スポーツ飲料、塩分（0.3%）を含んだ水の補給。
- ・ 体温の上昇があるときは、首、脇の下、足の付け根などを冷却して体温を下げる。

▼予防

- ・ 高温に適したウェアの選択（素材によって異なる）
- ・ 日頃から高温ストレスに慣れ、体調管理を行う。
- ・ こまめにスポーツ飲料、塩分を含んだ水の摂取に努める。
- ・ 節電が叫ばれていますが状況に応じてクーラー、扇風機の使用も必要です。

日本陸連主催の全国医務部長会議に出席しました。

日程：2012年5月27日(日)

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター

内容：1.海外帯同の報告

2.医務活動、ドーピング防止、トレーナー活動

3.各陸協活動紹介、情報交換

平成24年度 賛助会員

平成24年6月30日現在（順不同）

佐藤三千雄	田中 利雄	豊島富美子	田中 克美	石田 汎	塩野 博雄
北島 正市	高嶋 暁	堀口 利夫	藤橋多一郎	椎津 民雄	渡邊 實
櫻井 助治	酒井 義典	澁谷 光二	前田 芳男	樋口 京子	下田 喜一
市川 力雄	水久保亮一	大嶽 秀行	鈴木 奉忠	樋口 幸好	嶋田 正
宮川 喜一	篠原 忠造	河鍋 衛	荒川 寛	飯野 秋治	染谷 秀雄
長田 肇	堀江 静男	若林 秀雄	来栖 章	平塚 宜信	窪塚 哲朗
岡村 定夫	渡辺 恒久	伊藤 訓生	横山 弘	伊藤 昭夫	千葉 一雄
福田 光弘	井上 有美	保谷 準	石井キヨ子	五味 恵	吉川 節郎
金子 正芳	江村 良一	吉本 延男	鈴木 存	市村 眞	山口 一男
細田 章	野崎 忠信	猪俣 寛	井上 敦夫	塩垣久美子	塩谷 吹雪
小松 邦江	野村 武弘	佐藤 良男	桑原 則夫	船越 武明	馬場 孝
平内 誠	尾崎 宏二	長谷川 誠	滑 年雄	猪瀬 尚志	加藤 春雄
石澤 君子	皆越 安之	折野 栄子	豊泉 和男	今治 英而	伊藤徳之助
伊藤 陽三	鈴木 幸子	勝 愛子	浅野 光男	田嶋 博隆	安蒜 弘尚
加藤 昇	藤田 幸雄	瀬戸 和美	染谷 実	斎藤 孝行	山西 晃
島田 博行	栗山 勝男	福島 雄吉	加藤 健二	松井 達也	中野 人志
小竹勝太郎	荒木 代子	田所 秀雄	中村 直司	平塚 和則	中村 孝生
小黑 栄信	青地 清助	三橋 敏武	根岸 浩美	田中 右一	川島 康男
鈴木 茂雄	鈴木喜久男	村田 延雄	石郷岡範昭	堀越 好夫	
塚谷 辰光	増田 秀一	深井 進	井筒 千秋	大野 利雄	
浅見 邦一	板倉 武	浅野 宣義	齋藤 文子	貫井 勝之	

編集後記 暑い夏です。眠れぬ夜、ロンドンオリンピックのTV中継に釘付けでぐったり疲れました◆国内では夏休み中に小・中・高校生の全国大会が開催されます。東京の選手の活躍が楽しみです◆昭和41年に創刊された東京陸協会報も次号は100号となります◆今後も東京陸協加盟団体・協力団体の取り組みを積極的に取り上げていこうと考えています。情報をお寄せください。(K)

東京陸協会報100号記念号

100号記念座談会 東京陸協会報の歴史概略

P2~
P4



スタートよければすべてよし

会長代行 鈴木 存

2013年、東京陸協のスタートは幸先の良いものとなりました。1月13日の皇后盃第31回全国都道府県対抗女子駅伝では、2時間18分19秒の好記録で久々に8位入賞を果たし、1週間後の天皇盃第18回男子駅伝では、2時間19分56秒と2連勝の兵庫に5秒という僅差で2年連続の準優勝を達成しました。男子・女子ともに東京チーム新記録でした。この素晴らしい結果は、コーチ陣の適切な指導と選手諸君の頑張りもたらしたものであり、秋の国民体育大会陸上競技の総合優勝を目指す導火線になったものと思います。

さて、本年は国民体育大会を54年ぶりに東京で開催いたします。東京陸協の真価が問われる時がやってまいりました。実行委員会を中心に準備を進めておりますが、関係団体との調整を進める中で難題も多く出てきています。4月に入りますとトラック・フィールドシーズン開幕。東京選手権を皮切りに、今年はセイコーゴールデングラプリ2013も東京で開催となり、更に6月には日本選手権も控えています。前半の勝負どころとなるこれらの大会の運営が大切であり、国体前に迎えるこの山場を乗り切って、秋の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に臨みたいと思います。全国が注目する中、東京陸協の底力を発揮し、「スタートよければすべてよし」のごとく成功に導きたいものであります。

*石原伸晃会長が環境大臣就任のため、平成25年1月の東京陸協理事会において副会長・鈴木存氏を会長代行とすることが決まりました。



2013年を飛躍・充実・ 成功の年に

専務理事 田中 利雄

東京陸上競技協会の会報が100号の発行に至りました。大変喜ばしい事であると同時に、会報の編集・発行に携っていただきました方々、協力して頂いた多くの会員の皆様に心より御礼申し上げます。

東京陸上競技協会は、平成25年5月から一般財団法人として活動がスタートする予定です。新法人の組織は、良知良能に着眼を置いた適材適所の人材起用を行ってまいります。専門部の部長は理事が担当する規定はなくなりました。東京陸協に

所属する一人ひとりがあるべき姿勢を示すことで、組織の繁栄に繋がることを認識し、日本の陸上競技界をリードしていくためにも心ひとつにして取組んでいただきたいと思っております。

平成25年度は、4月に東京選手権を開催し、その後重点競技会が連なります。これらの競技会のみならず、他の競技会においても、競技者は競技者として、審判員は審判員として士気高揚を図り、研鑽を積み重ね、それぞれの大役が果たせるよう努力してください。

公益性の高い事業運営を進めている当法人として、名に恥じない組織運営を確立するため、皆さま方のたゆまぬお力添えを賜うことをお願い申し上げます。

東京陸協会報は100号になりました

100号記念座談会

会報100号を記念して、これまでの会報発行にご尽力くださいました方々にお集まりいただき、座談会を行いました。すでにお亡くなりになられた方、ご都合でご出席いただけなかった方もいらっしゃいましたが、下記の6名の皆様がお集まりくださり、現広報部員3名と共に思い出話や今後の方向性等について意見交換を行いました。

日時 平成25年1月24日(木) 15時00分～17時30分
場所 東京陸協事務局 6階会議室
出席者 浅野光男 鈴木義勝 一木慶隆 渡辺宣之
井口輝男 大内邦彦
(現広報部) 小松邦江 長谷川博 菊池昌久



(1) 自己紹介も兼ねて、会報作りに取り組んだ頃を思い出していただきました。

一木 慶隆 梶原玲氏が会報復刊の取り組みをスタートさせた1984年に、新聞社勤務の経験を買われて声がかかり、手伝いが始まった。その後専門部はいくつか変わったが、90号までの79回発行に様々な形でかかわった。60号の「飛翔」命名、カラー化も積極的に推進した。



渡辺 宣之 浅野部長と共に1期2年担当。実業団や保善高校・白梅学園等いろいろなところに取材に出かけた。浅野部長の意向で他の陸協にも会報を送るようになった。多くの会員が会報の存在を知らないため、審判講習会やあらゆる大会に車で運び、配布した。「東陸で会報を発行していたんだ」との声もあった。



鈴木 義勝 2001年の59号から手伝いを始め、久保田・浅野・稲邑・宮岡の4人の部長に仕えた。4期8年の間、59号から90号まで21回の発行を手伝った。「小掛照二が行く」で企業、「学校訪問」で白梅学園や東京高校等様々な場に出かけて取材し、原稿を書いた。同行のカメラマンは森中カツミ氏。国体等地方の取材は断った。原稿はすべて手書きだった。



井口 輝男 東陸マークを多色刷りにしたことで会報への関心が高まり増刷。発行回数を少なくして経費捻出。HPと会報の共存を考え、記事の仕分けをした。インターネットの出来る人を部員にしたこともあり、部員数が6名から12名に増加。



浅野 光男 陸上競技協会の広報紙なので、実業団・大学・高校・中学の大会の記録は全部掲載することを心がけた。駅伝は区間記録まで掲載。大会視察の予算なく、駅伝は自費で行った。埼玉国体で初めて交通費のみ支給あり。会報配布は登録クラブに必要なアンケートを行った。HPは予算も組んだが十分機能しなかった。



大内 邦彦 井口部長のもとで91号から96号を担当。部長から「読者対象を考え、会員の望む内容の会報を作るよう」指示あり。HPもあるが、大会の記録も掲載した。会報送付は団体代表委員に4部送り、追加希望は申し出るシステム。取材予算は国体・東日本女子駅伝・全国都道府県男・女駅伝が認められた。



小松 邦江 97号から担当。広報部は会報班とホームページ班に分かれ、ホームページの充実にも取り組み、会報の役割を再考。形式・体裁を変更し、会員の仲間作りを意識した紙面づくりとしてトピックスを取り上げ、写真を多くした。



(2) 会報作りでご苦労したことを聞きました

- * 原稿が集まらない。東陸役員は忙しいためなかなか協力いただけない。代筆や、インタビューをまとめることで体裁を整えることも多々あった。ぎりぎり原稿が出ないため、仕方なく活字の大きさを変えたり行間を広げてスペースを埋めたこともある。
- * 知人に「何でも良いから書いてくれ」と頼んで回った。しかし、有名人の文章でないといと読んでもくれない。
- * 広報担当者は顔が広がらないと勤まらない。原稿を頼んでも相手にされない。頼みにくい。
- * 各号の全体の企画は大変。年間の計画はあるが、発行したらすぐ次の面割を考える。
- * 広報部が独立していると情報収集が難しい。本来は東陸の動きをよく把握している総務部が編集するものではないか。初期は総務部内の担当者が編集していた。
- * 印刷所との連携が大変。印刷所に出かけて打ち合わせたこともある。せっかくだからと、その場で次号の面割まですることもあった。
- * 適当な写真がなければ、陸上競技社やベースボールマガジン社にお願いして提供してもらうこともあった。
- * 年6回発行するよう指示が出たことがある。経費も労力も大変なこと。
- * これらの苦労は、担当したものでなければわからない。(一同 うなずく！)

(3) 広告掲載についてはどのようなお考えですか

- * これまでの東陸会報では、裏表紙全面広告ということもあった。
- * 原稿が少なくて広告で埋めたことがある。
- * 特集の「小掛照二が行く」で企業を取り上げたときは広告費をもらった。
- * 財政面でも広告はあって良いと思う
- * 他県の会報も広告を掲載しているところあり

(4) 会報発送数は 送付先はどこまで

- * 現在は各クラブ人数の25%の数を会の代表に送付している。苦情は特になし
その他、東陸役員・賛助会員・各都道府県陸協・協力団体・東陸応援団体・記事執筆者・写真提供者等に送付。その他各号ごとに検討して団体・個人に発送している。
- * 会報をホームページに掲載しており、各自で印刷できるようになっている。「もう送らなくて良いのではないか」との声もある。
- * 本来、会員全員に送るべきもの。費用がかかるのであれば会費値上げを検討したらどうか。
- * いくつかの登録団体で、送られたものを積み上げている状況があったため、希望数調査をしたことがある。
- * 定期購読希望者を募ったらどうか。その方には送料を負担してもらう。
- * 会報の存在を知らない会員が多い。大会や審判講習会で配布したらどうか

(5) 今後、HPとの共存はどうあるべきでしょうか

- * 思い切って会報をなくしたらどうかとの意見もある。
- * これまでの会報を全部残している。なくなると寂しい。
- * もらってすぐは見ないかもしれないが、5・6年するとじっくり見る。
- * 年3回では記事が古くなる。インターネットでこまめに情報発信したほうがニュース性がある。
- * HPを見ない方には紙で送ってあげなくてはいけない。
- * まだまだインターネットを見る人は少ない。
- * 30代から50代の意見を汲み取れていないのではないか。広い年齢層の意見を聞く必要がある。

座談会を終えて

広報部長 小松邦江

このように情熱を傾けて東京陸協の会報を作り続けた皆さんのご苦労で100号まで継続することが出来ました。そして、この会報によって東京陸協の会員がつながり、東京陸協の発展を支えてきたのだと感じました。

しかし、今大きな変化の時代を迎えています。

正確な情報を早く多くの方が共有するにはどのような方法が良いのか。年齢や職業など様々な状況の違う会員が、気持ちをひとつにして繋がるためのもっとも良い方法は何なのか。今の広報部に大きな課題が投げかけられていることを強く感じる座談会でもありました。ご出席いただきました皆様、貴重なお話をありがとうございました。

【資料】東京陸協会報の歴史概略

1966(昭和41)年7月 会報創刊

永年の懸案であった会報を創刊。題字は、当時の会長・村木武夫氏揮毫によるもの。表紙には日本陸上競技連盟の河野謙三会長からのお祝いメッセージが掲載されています。B5判横書き白黒印刷。1部50円で販売されました。しかし、月刊で翌年の3月に10号を発行したあと、あっけなく幕切れとなる。理由はわかりません。復刊まで18年かかった。



創刊号

1984(昭和59)年 会報復刊 会報編集室長:梶原 玲

永田安之輔氏会長就任。梶原玲氏の尽力で総務部に会報編集室を設け、2月に復刊第1号となる11号を発行。題字は永田安之輔会長揮毫。紙面は縦書きに変更。梶原氏は1995年2月の40号まで担当した。

「加入団体行事予定表」「競技会日程」等を付録として別刷りで作成したこともある。

1995(平成7)年 広報部設置 部長:北島正市

2期4年の任期中10回(41号~50号)発行。この間、1997(平成9)年に田英夫氏会長就任。

1999(平成11)年 部長:稲邑彰一

1期2年8回(51号~58号)発行 51号から題字は田英夫会長。

2001(平成13)年 「飛翔」と命名 部長:久保田克彦

1期2年7回(59号~65号)発行 60号から紙面大幅改革 「飛翔」と命名、A4サイズ、全体を江戸紫のカラー化。縦書きページ・横書きページあり。



60号

2003(平成15)年 緑色に変更 部長:浅野光男

1期2年8回(66号~73号)発行 東京都旗のイチョウの色・緑系に変更。会員に会報の存在が十分認知されていない状況から、配布希望数調査実施。

2005(平成17)年 部長:稲邑彰一(再任)

1期2年8回(74号~81号)発行 小掛照二氏会長就任。年6回発行の指示あり

2007(平成19)年 部長:宮岡芳久

1期2年11回(82号~90号, 83-2号・85-2号)発行 国体特集号(83-2号)作成

2009(平成21)年 東陸マーク多色刷 部長:井口輝男

1期2年6回(91号~96号)発行

2011(平成23)年 紙面リニューアル 部長:小松邦江

97号から担当 現在に至る。白黒・A4横書き・左綴じ、レイアウト・用紙・活字サイズ等変更



97号

東京陸協会報のすべてをデータ化しました

東京陸協会報が100号に達した記念として、創刊号から100号までのすべての紙面をデータ化しました。この取り組みを行うにあたり、元広報部長の北島正市氏から、全巻整理・保管していた会報をお借りできましたことで実現いたしました。今後、この貴重なデータをどのような方法で皆様にご覧いただくか検討中です。東京陸協の取り組みの歴史、東京の選手が活躍してきた様子など興味ある記事が満載です。多くの方にご覧いただきたいと思っています。

平成25年度 主要競技会日程

	期 日	競 技 会 名	競 技 場・競 走 路
東京陸上競技協会主催	4月20日(土)・21日(日)	第76回東京陸上競技選手権大会 兼国体代表選手選考会	味の素スタジアム(東京)
	6月30日(日)	第29回 全国小学生陸上競技交流大会東京都予選会	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	7月15日(月・祝)	第68回国体代表選手選考会	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	9月8日(土)・9日(日)	第24回東京ジュニア陸上競技大会 兼第44回ジュニアオリンピック選手選考会	江東区夢の島競技場
	10月27日(日)	第53回東京女子陸上競技大会	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
	1月1日(火)	第62回元旦競歩大会 兼第76回東京陸上競技選手権大会(競歩)	神宮外苑・絵画館20k競歩路コース
国際大会・日本陸連主催	5月5日(日・祝)	セイコーゴールデングランプリ2013	国立霞ヶ丘競技場(東京)
	6月7日(金)～9日(日)	第97回日本陸上競技選手権大会	味の素スタジアム(東京)
	7月30日(火) ～8月4日(土)	第66回全国高校陸上競技対校選手権大会	大分銀行ドーム(大分)
	8月10日(土)～18日(日)	第14回世界陸上競技選手権	モスクワ(ロシア)
	8月19日(月)～22日(木)	第40回全国中学校陸上競技選手権大会	瑞穂(愛知)
	8月23日(金)・24日(土)	第28回全国小学生陸上競技交流大会	日産スタジアム(神奈川)
	10月4日(金)～8日(火)	第68回国民体育大会	味の素スタジアム(東京)
	1月12日(日)	皇后盃第32回都道府県対抗女子駅伝競走大会	京都
	1月19日(日)	天皇盃第19回都道府県対抗男子駅伝競走大会	広島
	2月23日(日)	東京マラソン2014	東京
実業団・学連・マスターズ主催	5月18日(土)・19日(日) ・25(土)・26日(日)	第92回関東学生陸上競技対校選手権大会	18・19国立霞ヶ丘競技場(東京) 25・26日産スタジアム(神奈川)
	9月6日(金)～8日(日)	第81回日本学生陸上競技対校選手権大会	国立霞ヶ丘競技場(東京)
	9月6日(金)～8日(日)	第34回全日本マスターズ陸上競技大会	佐賀(佐賀)
	9月20日(金)～22日(日)	第61回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会	熊谷(埼玉)
	10月27日(日)	第31回全日本大学女子駅伝対校選手権大会	仙台市(宮城)
	11月3日(日)	秩父宮賜杯 第45回全日本大学駅伝対校選手権大会	名古屋(愛知) ～伊勢(三重)
	12月15日(日)	第33回全日本実業団女子対抗駅伝競走大会	松島～仙台(宮城)
	1月1日(祝・火)	第58回全日本実業団対抗駅伝競走大会	前橋市(群馬)
1月2日(木)・3日(金)	第90回東京箱根間往復駅伝競走大会	東京・神奈川	

*11月10日(日) 第29回東日本女子駅伝競走 福島市(福島)

公益財団法人化に向けた準備状況

新公益法人移行準備委員会委員長
総務部長 有澤政雄

1 合併承認の臨時総会開催

- (1) 期 日 平成24年12月22日
- (2) 会 場 立正大学
- (3) 出席者 登録代表者数401名に対し、出席者数 288名（出席者87名 表決票提出者201名）
- (4) 議 題 一般社団法人東京陸上競技協会と一般財団法人東京陸上競技財団との吸収合併
- (5) 資 料 ①合併契約書（写し） ②合併後の定款（案）、
③役員選出規程（案） ④加入団体連絡協議会規程（案）

(6) 内 容

ア 一般社団法人となるまでの経緯について説明

昭和10年 東京陸上競技協会として組織化される

昭和48年2月 財団法人設立の構想が打ち出され、基金積立を行う。しかし、設立時の基本財産が高額のため断念

平成7年4月 社団法人東京陸上競技協会を設立

平成20年12月 公益法人関連三法施行 新たな公益法人制度スタート

平成24年4月 一般社団法人に移行

イ 公益財団法人への取り組みについて説明

法律改正時から公益財団法人移行の道を模索。一般社団法人と一般財団法人の合併が可能となったことから、平成24年8月に一般財団法人東京陸上競技財団の設立登記を済ませた。公益認定が先か、合併が先か議論をする中で、監督官庁の指導により合併を先にすることとした。合併後の定款（案）・諸規定（案）について説明が行われた。

ウ 質疑応答

エ 合併が承認され、下記が決定

- (1) 吸収合併後の新団体名は一般財団法人東京陸上競技協会とする
- (2) 臨時総会での合併承認後、必要な手続きを行う。
- (3) 平成25年4月1日から一般財団法人東京陸上競技協会として活動を開始する。その後公益認定の申請を行い、公益財団法人東京陸上競技協会を誕生させる。

2 役員推薦ブロック別打ち合せ

新しい「役員選出規程」によるブロックは次ページ上の表のとおりである。臨時総会で「新制度による25・26年度の役員選出について、会場、日時等の段取りを執行部で行ってほしい」との要望があり、執行部（総務部）が準備した推薦ブロック別の打ち合わせ会が、平成25年2月18日のAブロックから開始された。各ブロックとも評議員、理事推薦候補者の選出が行われ、すべてのブロックから候補者が出揃った。

なお、学識経験者枠の評議員・理事候補者は、選考委員会を経て打ち合わせ会開催前に氏名が公表された。

評議員、理事、監事推薦ブロックと推薦数

推薦ブロック	内 訳	評議員	理事	監事
Aブロック	千代田、(中央)、港、新宿、文京、大島	1	1	
Bブロック	台東、墨田、江東、荒川、足立、葛飾、江戸川	1	1	
Cブロック	品川、目黒、大田、世田谷、渋谷、(中野)	1	1	
Dブロック	杉並、豊島、北、板橋、練馬	1	1	
Eブロック	立川、武蔵野、三鷹、府中、調布、(国分寺)、国立、狛江、小金井、小平、東村山、(東大和)、(清瀬)、東久留米、武蔵村山、西東京	1	2	
Fブロック	八王子、青梅、町田、日野、福生、多摩、稲城、西多摩郡、あきる野、昭島	1	2	
Gブロック	職域・一般	2	4	
Hブロック	中体連 (1)、高体連 (1)、関東学連 (1)	1	3	
(小 計)		9	15	
Jブロック	学識経験者	8	12	2
合 計		17	27	2
定款による規定		15-20人	20-30人	2人

3 加入団体連絡協議会開催

- (1) 期 日 平成25年2月26日(火)
- (2) 会 場 立正大学
- (3) 出席者 92名(東京陸協各加入団体から1名の出席を案内)
- (4) 説明・連絡内容
 - ア 平成25年度事業運営について
 - イ 平成25年度事業計画について
 - ウ 平成25年度予算編成の基本的な考え方

[参考] 一般社団法人から一般財団法人(平成25年4月1日～)に移行後の東京陸協運営上の変更点

1 役員選出方法

「一般財団」では、日本陸連、都体協の選出方法に準拠して選出する。

	役員名	選出基準	一般社団	一般財団
1	理事	選挙による選出	15名	—
2		ブロック推薦	—	15名
3		会長候補	1名	—
4		学識経験者	5名	12名
5	連絡理事	協力団体による推薦	5名	—
6	監事	学識経験者	2名	2名
7	評議員	ブロック推薦	—	9名
8		学識経験者	—	8名

2 会議のあり方

	会 議	一般社団	一般財団
1	総会(社員)	最高決議機関	なし
2	評議員会	なし	最高決議機関
3	理事会	業務の企画立案・実行	業務の企画立案・実行
4	加入団体連絡協議会	なし	総会に代わり交換の場

東京国体への期待と夢

東京国体必勝委員会
委員長 大村 邦英

「東京の総合優勝！」を目標に、残り7ヶ月に全てを賭けたい。岐阜国体の戦いが終わり、われわれの委員会は「東京国体必勝委員会」と改名された。名称の如く、東京陸上競技協会に優勝をもたらさなければならない。

今の東京チームに足りないところは、スタッフ・選手のチームワークである。全員が一丸となって「何が何でも勝つ！やってやる！」と必死に思わなければ高得点は取れない。このスローガンを掲げて、沖縄合宿では過去にない成年チームの結束を作り上げた。そして、少年たちに、成年チームから「頑張る勇気・勝てる秘訣」を学ばせた。1月の沖縄合宿(右写真)、2月の強化練習会では、成年たちが全体をリードした。今までにないいい形の練習となり、手ごたえを感じた。

スタッフは実績のある指導者を選考し、充実した組織となった。指導状況にも変化が現れ、競技力向上が大いに期待でき、29人の選手選考に頭を抱えそうな気がしている。

成年男子は、世界に羽ばたいた800m横田真人(富士通)、110mHの

岐阜国体で活躍した選手



横田 真人



八幡 賢司



卜部 蘭



利藤野乃花

八幡賢司(モンテローザ)・走高跳の醍醐直幸(富士通)・走幅跳の猿山力也(モンテローザ)に優勝の期待がかかる。男子リレーも川面聡太(ミズノ)・女部田亮(中央大)と役者がそろい、優勝を望めるメンバーである。少年男子は、走幅跳の間中太亮(日大豊山高)、三段跳の内山佳祐(東京高)、砲丸投の安藤夢(東京高)のフィールド陣が全国級である。

成年女子は、室内陸上60mで土井杏南について2位に入り好タイムをマークしたルーキーの藤森安奈(東京高)と100mインカレ2位の坂内陸(東京女子体育大)を中心としたリレーが面白い。400mHの西野愛梨(東京学芸大)、走高跳の井上七海(東京学芸大)も活躍が期待される。

高校生は男子以上に女子の活躍が楽しみである。短距離100mの高森真帆(東京高)、400m利藤野乃花(白梅学園高)、中・長距離では卜部蘭(白梅学園高)・谷萩史歩(八王子高)が中心になると思われる。今後の強化の取り組みで、男子の競歩やジュニアオリンピックで優勝した走高跳などに国体入賞が見えてくる。

2013年が楽しみになってきた。10月に大きな期待と夢をかけたい。皆様、応援をよろしくお願いたします。



川面聡太(左) 女部田亮(右)

都道府県対抗駅伝競走大会総括

常勝東京をメイクする

都道府県駅伝東京都選手団団長

東京陸協理事 強化部長 水木 学

駅伝プロジェクトを立ち上げて7回目の都道府県対抗駅伝競走大会……。男子は、二年連続の「準優勝」、女子は堂々の「第8位」、男女共に東京都新記録という結果を残しました。中村孝生監督就任時の「三ヶ年計画」は、ここに大きな成果を結んだと思います。

「2013年、東京が開催する国体の年に、男女都道府県対抗駅伝競走大会で優勝して、その勢いを東京に持ってこよう」という監督の熱い情熱がスタッフ一同の心を動かし、かつ選手一人ひとりの走りを引き出したことは言うまでもありませんが、「心が宿ったチーム」を育んだということが何より大きな収穫だったと思います。この強い監督の決意が、年を追ってプラスのスパイラル拡大を巻き起こしました。

今回の成果を導いた大きな理由は、三年後を見据えた実業団や選手への呼び掛けをはじめ、中・高体連の強化育成という具体的な準備をベースに、選手選考基準の精査やスタッフ会議の充実を図る等の数々のきめ細やかな準備を粛々と重ねたことにあり、そして、コーチングスタッフの研ぎ澄ました指導と細やかなサポートだったと思います。3年の経緯は、東京にとって一番大事なことは、たまたまではなく、結果をポジティブにメイクしたということにあります。競技がこの先も続く中で、常勝東京チームにとって、この「三ヶ年計画」は大きな礎になることでしょう。



皇后盃 第31回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会 (京都)

2013. 1. 13

第8位入賞、2時間18分19秒は過去最高タイム

1月11日、東京駅に集まった東京都代表の精鋭は馬場副会長から激励の言葉を受け、京都へ向け出発。すでに、事前合宿での成果を安養寺監督は高い評価をしていた。選手に聞いても「いままでやってきたことを出すだけ、頑張ります。」とリラックスムード。試合前日の開会式では、主将の五十嶺綾（資生堂）選手が「思いの込められたタスキを元気な走りで繋ぎます。」と宣誓。河野陸連会長からタスキが渡された。

宿舎では、京都都人会の池坊保子会長の激励を受け、夕食後のミーティングでは、水木団長、安養寺監督そして藤本コーチから「自分を信じて、しっかり走ろう。」とエールが送られた。

監督の右手が引き当てた1列目5番のスタート位置は「運」を引き寄せるスタートだったのかも知れない。定刻、ピストルが鳴ると選手は一団となって競技場から市内へ、途中経過を見守りながら、終盤競技場へ。8番目でトラックを回る垣見優佳（第一生命）選手に声援を送るスタッフの顔には喜びの笑顔が漂っていた。

9年ぶりに表彰式に臨んだ東京都チームの選手達に、会場から温かい拍手が贈られた。



競技場をスタートする選手（右から4番目が谷萩選手）



表彰式に臨んだ東京都選手団



選手宣誓を行った五十嶺選手

◎女子駅伝東京都チームのメンバー

- | | | |
|----|---------|----------|
| 監督 | 安養寺 俊 隆 | (資生堂) |
| 1区 | 谷 萩 史 歩 | (八王子高) |
| 2区 | 日 高 侑 紀 | (三井住友海上) |
| 3区 | 佐 藤 みな実 | (足立十一中) |
| 4区 | 大 槻 みちる | (第一生命) |
| 5区 | 五十嵐 綾 | (資生堂) |
| 6区 | ト 部 蘭 | (白梅学園高) |
| 7区 | 唐 沢 ゆり | (上水高) |
| 8区 | 山 口 いずみ | (東山中) |
| 9区 | 垣 見 優 佳 | (第一生命) |

天皇盃 第18回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 (広島)

2013. 1. 20

《2年連続準優勝 2時間20分の壁破る》



「ひろしま男子駅伝」スタート風景



表彰台にあがった東京都選手



広島県都人会のみなさんとの交流会



大迫 傑選手



武田凜太郎選手

「しっかりと自分の仕事をやって欲しい。吉報を待ってます。」東京駅で馬場副会長は東京都選手団を送りだした。中村孝生監督は「3年計画の3年目、勝てるチーム作りをしてきた。チームの雰囲気も上昇している。結果は必ず付いてくる。」と語って出発した。開会式が行われた広島市の国際会議場は熱気と、目に見えない火花が散っているように思えた。選手宣誓を行った打越



選手宣誓を行う打越選手

雄允（國學院久我山高）選手は「都道府県の代表として、チームの名誉のため全身全霊で走りぬくことを誓

います。」「Everyone in Japan. Yes, we can do it, So Let' go for it together.」（がんばろう日本）と英語をまじえて宣誓をすると会場からどよめきが上がった。

監督・コーチが言い続けてきた「1秒を大切に」「東京の誇りと自覚を持って」「自分のやってきたことを出せ」この思いがタスキにしっかりと沁み込んでいた。最終区で上野裕一郎（エスビー食品）選手の猛追むなしく2位の結果となったが、初めて2時間20分の壁を破り2時間19分56秒、そして、3区大迫傑（早稲田大）選手と5区武田凜太郎（早稲田実高）選手の区間賞獲得、さらに大迫選手にあっては、一般の優秀選手に選ばれ、内容のある準優勝だった。

このあと、広島都人会との交流会に出席させていただき、安達会長はじめ多くの方々からお祝いのお言葉をいただいた。

◎男子駅伝東京都チームのメンバー

- 監督 中村 孝生（エスビー食品）
 1区 打越 雄允（國學院久我山高）
 2区 斉藤 寛明（足立九中）
 3区 大迫 傑（早稲田大）
 4区 稲毛 悠太（東京実高）
 5区 武田凜太郎（早稲田実高）
 6区 小室 翼（銀座中）
 7区 上野裕一郎（エスビー食品）

第24回東京ジュニア陸上競技大会 2012.9.8~9

9月とはいえ、まだ暑さが残る江東区夢の島競技場で2日間にわたり、ジュニアオリンピック(9月26~28日横浜)選考を兼ねて開催されました。追風参考ながら10秒78をマークした小池真郁(國學院久我山中)選手や、7月に100mと200m



で今年度全国中学最高タイムを樹立した大嶋健太(中村中)選手の活躍が目立ちました。女子3000mでは、

佐藤みな実(足立十一中)選手が充実した走りを見せていました。



第52回東京女子陸上競技大会(東京レディース陸上2012) 2012.10.28

秋の小雨降るなか、駒沢公園競技場で開催されました。「ピンクリボン支援活動」も定着し、競技役員の胸にはリボンが着けられ、啓蒙活動も合わせて実施されました。



大会を前に女性審判員の資質向上や競技運営など中野審判部長の講義を交えて、研修会を開催し、この認識のもとに充実した女性審判員の活動推進に努めていました。



第61回元旦競歩(兼第75回東京選手権競歩) 2013.1.1

年明け恒例の元旦競歩が明治神宮外苑絵画館周回コースで行われました。男子20kmでは、ロンドンオリンピック代表の西塔拓己(東洋大)選手が1時間23分41秒



◀男子20kmで優勝の西塔拓己(東洋大)



▶女子10kmで優勝の大利久美(富士通)

分45秒で7連覇を果たしました。例年この大会を支援してくださっている津田昭彦氏も早朝からレースを観戦し、表彰式では、各部門の優勝者へ「津田直彦賞」の贈呈を行っていただきました。



▲男子20kmのスタート

で昨年につき連覇を達成。女子10kmでは、同じくロンドンオリンピック代表の大利久美(富士通)選手が44



▲レースを観戦する津田昭彦氏

主 な 競 技 会 の 結 果

- ◆第67回 国民体育大会(岐阜・長良川)10/5~9
 成年男子800m 1 横田 真人 富士通 1.48.28 (大会新)
 少年男子800m 1 三武 潤 城西大城西 1.50.29
- ◆第20回 世界ハーフマラソン(ブルガリア・カヴァルナ)10/6
 男子 29 宇賀地 強 コニカミノルタ 1.04.49
 女子 8 田中 智美 第一生命 1.11.09
- ◆第49回 全日本競歩高島(山形・高島町) 10/28
 男子50km 2 明石 顕 東大クラブ 3.56.46
 3 樋熊 敬史 陸歩クラブ 4.01.24
 女子20km 3 道口 愛 国士館大学 1.39.32
- ◆2012 シカゴマラソン(アメリカ・シカゴ) 10/7
 男子 17 門田 浩樹 カネボウ 2.13.39
- ◆第28回 日本ジュニア(愛知・瑞穂) 10/19~21
 男ジュニア800m 1 三武 潤 城西大城西 1.51.95
 女ユース 800m 2 卜部 蘭 白梅学園 2.09.33
- ◆第43回 ジュニアオリンピック(神奈川・日産)10/26~28
 男A) 100m 1 小池 真都 國學院久我山 10.97 (-1.0)
 2 大嶋 健太 中村 11.01 (-1.0)
 男A) 走高跳 1 平塚 玄空 浅草 1m98
 女A) 砲丸投 3 坂本 早映 戸板 11m63
 女B) 100mH 2 八尋はるか KMC陸上ク 14.64 (-0.7)
- ◆第30回 全日本大学女子駅伝(宮城・仙台市) 6区間38.6km) 10/28
 3 筑波大 2.07.41
- ◆第63回 全国高校駅伝東京都予選(荒川区) 7区間42.195km) 11/3
 1 東京実業 2.09.59
 2 國學院久我山 2.10.23
 3 拓殖大 2.11.22
- ◆第24回 全国高校女子駅伝東京都予選(荒川区) 5区間21.0975km) 11/3
 1 八王子 1.11.42
 2 順天 1.12.56
 3 上水 1.13.49
- ◆第53回 東日本実業団駅伝(埼玉県内) 7区間77.5km) 11/3
 1 コニカミノルタ 3.47.57
 2 日清食品グ 3.48.42
 4 JR東日本 3.49.21
 5 カネボウ 3.50.02
- ◆第23回 東日本実業団女子駅伝(埼玉県内) 6区間42.195km) 11/3
 2 第一生命 2.19.25
 4 三井住友海上 2.21.55
 8 資生堂 2.24.21
 10 ホクレン 2.24.59
- ◆第44回 全日本大学駅伝(熱田神宮・伊勢神宮8区間106.8km) 11/4
 1 駒 沢 大 5.12.43 (大会新)
 2 東 洋 大 5.13.32
 3 早稲田大 5.15.08
- ◆第28回 東日本女子駅伝(福島・信夫ヶ丘) 9区間42.195km) 11/11
 3 東京都 2.18.29
- ◆第4回 横浜国際女子マラソン(神奈川・山下公園) 11/18
 8 赤羽有紀子 ホクレン 2.31.43
- ◆第65回 東京都中学校駅伝(武蔵野の森) 11/18
 男(6区間18km) 1 東山 59.28
 2 早稲田実 1.01.04
 3 二之江 1.01.11
 4 巣鴨 1.01.13
 女(5区間12km) 1 東山 43.25
 2 湖江 44.22
 3 足立十四 44.39
 4 甲ノ原 44.42
- ◆第63回 全国高校駅伝関東地区(茨城・ひたちなか市7区間42.195km) 11/24
 12 拓殖大 2.09.15
 15 東京実業 2.09.19
 26 國學院久我山 2.10.44
 35 大東大 2.14.06
- ◆第24回 全国高校女子駅伝関東地区(茨城・ひたちなか5区間21.0975km) 11/24
 5 八王子 1.10.10
 9 順天 1.10.52
 18 上水 1.13.00
 32 若葉総合 1.15.38
- ◆第66回 福岡国際マラソン(福岡・平和台) 12/2
 4 藤原 新 ミキハウス 2.09.31
- ◆第21回 全国中学校関東地区駅伝(茨城・笠松運動公園) 12/2
 男子(6区間30.785km) 18 東山 58.24
 31 早稲田実業 1.01.08
 32 巣鴨 1.01.14
 33 二之江 1.01.18
 女子(5区間12.44km) 19 東山 43.49
 27 甲ノ原 45.29
 30 湖江 45.41
 31 足立十四 46.53
- ◆奈良マラソン2012(奈良・奈良市鴻ノ池) 12/10
 女子 3 稲見 真己 AC KITA 2.47.48 (大会新)
- ◆第20回 全国中学校駅伝(山口・セミナパーク) 12/16
 男子(6区間18km) 17 東山 58.18
 女子(5区間12km) 21 東山 42.56
- ◆第32回 全日本実業団女子駅伝(宮城・仙台市)6区間42.195km) 12/16
 3 第一生命 2.18.29
- ◆第43回 防府読売マラソン(山口・防府市) 12/16
 4 徳本 一善 モンテローザ 2.14.48 (濱村杯受賞)
- ◆第63回 全国高校駅伝(京都・西京極) 12/23
 (7区間42.195km) 31 東京実業 2.10.22
- ◆第24回 全国高校女子駅伝(京都・西京極) 12/23
 (5区間21.0975km) 21 八王子 1.10.50
- ◆第57回 全日本実業団駅伝(群馬・群馬県庁)7区間100km) 1/1
 1 コニカミノルタ 4.51.32
 3 カネボウ 4.55.25
- ◆第89回 東京箱根間往復大学駅伝(東京・神奈川)10区間217.9km) 1/2~3
 1 日本体育大 11.13.26
 2 東洋大 11.18.20
 3 駒沢大 11.19.23
- ◆皇后盃 第31回都道府県対抗女子駅伝(京都・西京極)9区間42.1095km) 1/13
 8 東京都 2.18.19
- ◆天皇盃 第18回都道府県対抗男子駅伝(広島・広島市)7区間48km) 1/20
 2 東京都 2.19.56
- ◆第32回 大阪国際女子マラソン(大阪・長居) 1/27
 8 洪井 陽子 三井住友海上 2.32.41
- ◆2013日本ジュニア室内陸上(大阪・大阪城) 2/2~3
 男子ジュニア 1500m 5 菊地 聡之 岩倉高 4.01.63
 男子ジュニア 走幅跳 5 間中 太亮 日大豊山高 7m01
 中学男子 60m 2 後藤 出帆 立石 7.09
 中学男子 800m 3 栗田 寛樹 巣鴨 2.00.46
 女子ジュニア 60m 2 藤森 安奈 東京 7.49
 女子ジュニア 60m 5 高森 真帆 東京 7.66
- ◆第62回 別府大分マラソン(大分・大分市) 2/3
 女子 4 金子 美雪 AC KITA 2.56.44
 女子 8 大庭 知子 霞が丘AC 3.01.25
- ◆第67回 丸亀ハーフマラソン(香川・丸亀市) 2/3
 男子 3 宇賀地 強 コニカミノルタ 1.01.16
 女子 4 松見早希子 第一生命 1.10.10
- ◆第53回 唐津10マイルロードレース(佐賀・唐津市) 2/10
 1 上野裕一郎 エスピー食品 46.56
- ◆第51回 延岡西日本マラソン(宮崎・延岡市) 2/10
 2 黒崎 拓克 コニカミノルタ 2.12.22
- ◆第96回日本選手権20km競歩(兵庫・神戸市) 2/17
 男子 6 藤澤 勇 ALSOK 1.20.50
 女子 5 道口 愛 コモディイグ 1.35.39
- ◆第47回青梅マラソン(東京・青梅市) 2/17
 男子30km 1 伊藤 正樹 コニカミノルタ 1.30.21 (大会新)
 女子30km 3 橋本 和美 ホクレン 1.49.19
 男子40歳以上30km 1 実井謙二郎 日清食品グループ 1.40.00 (大会新)
 男子高校10km 1 茂木圭次郎 拓大 30.36
 女子高校10km 1 谷萩 史歩 八王子 33.22 (大会新)
- ◆東京マラソン2013(東京・東京) 2/24
 女子 5 尾崎 好美 第一生命 2.28.30

Topics

渋谷区陸協 2012.8.26

▼味の素スタジアム西競技場の感触は



夏の陽ざしが強い味の素スタジアム西競技場で渋谷区陸協主催の競技会が、陸協50周年記念事業の一環として開催された。地域陸協としては初の使用となる

この競技場の真新しさに新鮮さを感じた。(写真：野末雅文会長)



新宿区陸協 2012.9.16

▼区民とのコミュニケーションを大切に



年間計画として、障害者スポーツの促進、シューズメーカーとコラボしたスポーツレク、国立競技場を使っの本格的競技会と3つの柱を立て、コミュニケーションを図っている。(写真：島村雅之会長)

新宿区内を走るシティマラソンや国立競技場での競技会もその一環。



葛飾区陸協 2012.9.16

▼奥戸天祖神社は葛飾区総合競技場の護神

奥戸天祖神社に隣接した競技場は第4種公認競技場に改修された。評判、条件の良い競技場



と地域に親しまれている。陸上競技への理解を深めようとの地域と密着した種目の導入も積極的に進めている。

江東区陸協 2012.11.25

▼「潮風に乗って走ろう」

江東シーサイドマラソンも32回目を迎えた。三つ目通りや明治通りといった幹線道路、昨年開通



したゲートブリッジ付近と、まさに潮風を身体いっぱい浴びて走るコースで行われた。表彰状が木場の木材を使ったものとしても有名。(写真：河野陽一選手)

八王子市陸協 2013.2.10

▼八王子夢街道駅伝に一役

第63回全関東八王子夢街道駅伝競走は、八王子駅前をスタートし、市内を巡回して南多摩高校へ戻るコースで開催された。今年は大大会名称を焼印した地元つるや製菓の「都ま



んじゅう」の販売もあり「楽しみのひとつに加えていただければ」と、店長の山本さんも張り切っていた。

青梅市陸協 2013.2.17

▼春の青梅路を2万人が走る「青梅マラソン」

青梅市の人口が一気に膨れあがったこの日、



快晴のなかで大会は10kmと30kmに分れスタート。スターターは、北京、ロンドン五輪の競泳メダリスト「松田丈志」さん(写真左)が務めた。

30kmでは伊藤正樹(コニカミノルタ)選手が1時間30分21秒で優勝、33年ぶりの大会新。高校女子10kmでは、谷萩史歩(八王子高)選手が33分22秒の2年連続大会新で栄冠を手にした。

東京マスタース陸上連盟 2012.11.11

▼駅伝競走とロードレースに健脚を競う

日本マスタース陸上競技連合は第25回全国駅伝と第1回ロードレースを武蔵野の森で開催した。駅伝には48チームが参加。



ロードレースでは、90歳の林潤太郎さん(写真左)も大きな声援にこたえ見事5kmを完走した。

▼第40回関東中学校陸上競技大会 東京都が初の総合優勝

2012.8.9~10 群馬県前橋市



▼東京マラソン ワールドマラソンメジャーズに加わる 2013.2.24

雲ひとつない青空が36000人のランナーを迎えてくれた「東京マラソン」も7回目となった。スターターは猪瀬東京都知事。今



年から、ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークが組織するワールドマラソンメジャーズに

加わり、世界のトップ選手も出場。東京から世界へ発信するすばらしい大会となった。

▼櫻井孝次氏、東京マラソン財団理事長に就任

東京マラソン財団は、理事会の承認をもって東陸会員の櫻井孝次氏を新理事長に選出した。

【櫻井孝次氏の略歴】

1936年生(76歳)東京都出身 早稲田大学卒、日立製作所入社、メルボルン、ローマ、東京五輪の三段跳びに出場。JOC理事、日本陸連専務理事、同副会長などを歴任



▼ゴールデングランプリ2013

東京開催決定

5月5日(日・祝)国立競技場で開催することが決まり、内外トップアスリートの出場も予定されている。

国立競技場のスタンドが埋め尽くされた「スーパー陸上」の再現なるか。



Topics

▼2020オリンピック招致へ一丸となってPR



国際オリンピック委員会の東京視察が3月4日から始まった。5日には国立競技場周辺を視察。東陸会員や大学生で人文字を作って歓

迎し、スクリーンやスタンドで招致をアピールした。このあとイスタンブールとマドリードの視察が行われる。開催都市決定は9月7日。



Topics

2013年審判講習会から

2013年の東京陸協審判講習会は、第1回が3月2日(土)立正大学で開催され、最終の第7回は4月6日(土)大島町役場で行われることになっています。本年の大きな規則改正点は「トラック競技のスタート」に関することです。

- 1 日本陸連が主催・共催する競技会(全国小学生陸上を除く)においては、**スターターの合図は英語のみ**となります。それ以外の競技会は、日本語または英語を主催者の判断で決めることができます。
- 2 日本陸連が主催・共催する競技会(全国小学生陸上を除く)においては、「**不正スタート1回で失格**」のルールが適用されます(混成競技・道路競走・駅伝競走は除く)。それ以外の競技会は、主催者の判断で旧規則(不正スタート2回目以降誰でも失格)を適用することができます。
- 3 信号機が発射される前に、足をスターティングブロックのフットプレートから、あるいは手を地面から離れた場合のみ**不正スタート**となります。
- 4 スターターの合図(“On your marks”あるいは“Set”)後に「スタートの体勢に構えない」「手を上げたり大声を出す」「いったん静止のあと動く」などの行為は「**不適切行為**」として**当該競技者に警告が与えられ、累積によって失格**となります。

詳しくは「日本陸上競技連盟ルールブック2013年度版」「日本陸上競技連盟審判ハンドブック2013年度版」をご覧ください。

平成24年度 賛助会員

平成24年7月1日～平成25年2月26日(順不同)

潮田 和男	峰尾 公次	長岡 俊男	白林 晴江	大倉 政康	花圓澄明
石塚 功	山崎壽美子	松本 忠	岩崎 徹	稲毛 哲也	
石黒 成彬	赤沼 正雄	小鹿野博夫	有澤 正雄	小島壽一郎	

訃報

平成24年 8月31日 曾根 弘道 (71歳)
 平成24年10月13日 伊藤徳之助 (81歳)
 平成25年 3月 4日 平田 房雄 (68歳)
 平成25年 3月 5日 渡辺 勝 (75歳)

謹んで哀悼の意を表します。

現職理事逝去に伴う欠員補充について



9月27日付で田中右一氏(八王子市陸協)が新理事に選任されました。

平成25年度関東学連幹事長



早稲田大学の五十川基里(いかがわきさと)さんに決まりました。

編集後記

例年になく早く開花した東京の桜は、3月末にはほとんど散ってしまいました。東京陸協も、今年は特に早く日々が過ぎていく気がします。一般財団法人スタート、次々に開催されるビッグイベント、9月の2020オリンピック開催都市決定への期待…。

今後も、会報を通して「熱い東京陸協」をお伝えしてまいります。